

会 告 目 次

阪神大震災被災会員の方々へ	2
IPSJ カレンダー	3
平成 7 年度役員選挙について	5
研究発表会開催通知	10
第 10 回グループウェア研究会	10
第 59 回ヒューマンインタフェース研究会	10
第 69 回マルチメディア通信と分散処理研究会	11
第 99 回人工知能研究会	11
第 74 回設計自動化研究会	12
第 103 回ソフトウェア工学研究会	13
第 21 回プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	14
第 106 回自然言語処理研究会	14
第 55 回ハハ°フォーメーションコンピ°ューティング° 研究会	15
第 103 回計算機アーキテクチャ研究会	16
第 20 回情報メディア研究会	16
第 102 回データベースシステム研究会	16
第 44 回アルゴリズム研究会	17
第 53 回情報システム研究会	17
第 93 回コンピュータビジョン研究会	18
第 80 回記号処理研究会	18
第 68 回システムソフトウェアとオペ°レーティング° ・システム研究会	19
第 8 回オ°ディビ°ジュアル複合情報処理研究会	19
「研究グループ」について	21
雑 報	21
平成 7 年度研究会のお知らせ	22
平成 7 年度研究発表会開催予定	24
平成 7 年度研究会登録申込用紙	27
研究会発表申込書	28
平成 7 年度シンポジウム等行事予定一覧	29
情報処理学会「行事」申込書	30
情報処理学会第 50 回全国大会 (平成 7 年前期) の開催について	31
情報処理学会「連続連続セミナー '94」参加者募集	31
計算機性能の測定ならびに解析に関する国際ワークショップ -PERMEAN'95-	32
アルゴリズム研究会小規模国際会議論文募集	33
I S A D 95	34
会員の方へのお願い	35
支部だより	36
教官募集	37
会議案内	39

阪神大震災被災会員の方々へ

社団法人 情報処理学会
会 長 水野 幸男

この度の阪神大震災（兵庫県南部地震）によりお亡くなりになられた方々に深い哀悼の意をささげますとともに、被災地の会員の皆様に心からのお見舞を申し上げます。

当学会は、当面の被災者対策として災害にあわれた会員の方々の、平成7年度分の会費を免除することにいたしました。

つきましては、災害にあわれた方はご面倒でも、会員番号・氏名・住所・勤務先と被災状況（証明書があればコピー）を記して、学会の会員係まで早急にご送付いただくよう、よろしくお願いいたします。なお、お近くに災害にあわれた会員の方がおられましたらこの旨お伝えいただくとともに、その状況等をお知らせくださるようお願いいたします。

当学会の会員係が調査した被災18市町の会員数は次のとおりで、今後はこの方々の災害状況の収集に努め、その災害状況により対応するよう検討をさせております。

会員の皆様におかれましても、災害にあわれた会員に対して暖かいご支援を賜わりますようお願いするとともに、学会へのご意見、ご要望、ご連絡等ございましたら是非お知らせください。

以 上

[参考] 阪神大震災被害地域の会員数（機関誌発送別）

兵 庫 県			
	(自 宅)	(勤務先)	計
明石市	21	39	60
芦屋市	16	3	19
尼崎市	47	149	196
伊丹市	28	63	91
川西市	20	0	20
神戸市	191	453	644
洲本市	0	0	0
宝塚市	32	2	34
西宮市	51	14	65
三木市	3	2	5
淡路島	0	0	0
小 計	409	725	1,134
大 阪 府			
豊中市	47	70	117
小 計	47	70	117
総 合 計	456	795	1,251

IPSJカレンダー

★：共催

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
情報メディア・シンポジウム'95「情報・生命・人間」	工学院大	平成 7年 2月 16日 (木) ～ 17日 (金)	当日可	36-1 14p	事
グラフィクスとCAD研究会	情報処理学会	2月 17日 (金)	当日のみ	36-1 6p	研
音楽情報科学研究会	情報処理学会	2月 24日 (金)	当日のみ	36-1 6p	研
グループウェア研究会	横浜フットマーク	3月 2日 (木)	当日のみ	36-2 10p	研
ヒューマンインタフェース研究会	金沢工大	3月 2日 (木) ～ 3日 (金)	当日のみ	36-2 10p	研
マルチメディア通信と分散処理研究会	情報処理学会	3月 2日 (木) ～ 3日 (金)	当日のみ	36-2 11p	研
人工知能研究会	情報処理学会	3月 6日 (月) ～ 7日 (火)	当日のみ	36-2 11p	研
設計自動化研究会	九大	3月 8日 (水)	当日のみ	36-2 12p	研
<連続セミナー> インターネットの新しい展開	工学院大	3月 9日 (木)	3月2日 (木)	35-10 20p	事
ソフトウェア工学研究会	上智大	3月 9日 (木) ～ 10日 (金)	当日のみ	36-2 13p	研
プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	東工大	3月 9日 (木) ～ 10日 (金)	当日のみ	36-2 14p	研
自然言語処理研究会	松下電器	3月 9日 (木) ～ 10日 (金)	当日のみ	36-2 14p	研
ハイパフォーマンスユーティリティ研究会	札幌ソフトウェア専門学校	3月 9日 (木)	当日のみ	36-2 15p	研
計算機アーキテクチャ研究会	札幌ソフトウェア専門学校	3月 10日 (金)	当日のみ	36-2 16p	研
情報メディア研究会	情報処理学会	3月 10日 (金)	当日のみ	36-2 16p	研
データベースシステム研究会	情報処理学会	3月 14日 (火)	当日のみ	36-2 16p	研
全国大会	青山学院大学	3月 15日 (水) ～ 17日 (金)	当日可	36-2 31p	事
アルゴリズム研究会	日本IBM	3月 17日 (金)	当日のみ	36-2 17p	研
情報システム研究会	日本ユニシス	3月 22日 (水)	当日のみ	36-2 17p	研
コンピュータビジョン研究会	農工大	3月 23日 (木)	当日のみ	36-2 18p	研
記号処理研究会	NTT	3月 24日 (金)	当日のみ	36-2 18p	研
システムウェアとオペレーティング・システム研究会	情報処理学会	3月 24日 (金)	当日のみ	36-2 19p	研
オペレーティング・システム複合情報処理研究会	機械振興会館	3月 31日 (金)	当日のみ	36-2 19p	研

【国際会議】

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
★ 第4回高度応用のためのデータベースに関する国際シンポジウム (DASFAA'95)	シンガポール国立大学	1995年 4月10日(月) ～13日(木)	増永良文 Tel.(0298)52-0511 ext.340		国
★ 第2回自律分散システム国際会議 (ISADS 95)	フェニックスアリゾナ(米国)	4月25日(火) ～27日(木)	森 欣司(日立) Tel.(044)966-9111	35-4 51p	国
★ 人間とコンピュータの関わりあいに関する第6回国際会議 (HCI'95)	パシフィコ横浜	7月 9日(日) ～14日(金)	森 博彦 Tel.(03)3703-3111 ext.3420		国
★ マルチメディア・ジャパン96	パシフィコ横浜	1996年 3月18日(月) ～20日(水)	柴山茂樹(株) bashi@cis.canon.co.jp	36-1 26p	国
★ Int'l Conference on Advances in Production Management Systems (APMS'96)	京都国際会館	11月 4日(月) ～ 6日(水)	長谷英明 Tel.(03)753-5901		国
★ 第11回システム同定に関する国際自動制御連盟学術会議 (SYSID'97)	アクロス福岡	1997年 7月 8日(火) ～11日(金)	計測自動制御学会 Tel.(03)3814-4121	36-1 26p	国

【論文募集中】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
1995年並列処理シンポジウム	福岡市	5月15日(月) ～17日(水)	3月31日(金)	35-10 37p	事
計算機性能の測定ならびに解析に関する国際ワークショップ-PERMEAN'95	別府コンベンションセンター	8月21日(月) ～22日(火)	3月1日(水)	36-2 32p	研
★ ASP-DAC '95/CHDL '95/VLSI '95 (ACV '95)	日本コンベンションセンター	8月29日(火) 9月 1日(金)	2月24日(金)	35-5 27p	国
★ 第3回ネットワークとプロトコルに関する国際会議 (IEEE ICNP-95)	NECスパーカー	11月 7日(火) ～10日(金)	3月1日(水)	35-10 38p	国
Sixth Annual International Symposium on Algorithms and Computation(ISAAC95)	オーストラリア	12月 4日(月) ～ 6日(水)	5月12日(金)	36-2 33p	研

【支 部】

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
北海道支部 情報処理北海道シンポジウム'95	北大 学术交流会館	4月19日(水) ～20日(木)	当該ページ参照	36-2 36p	北
東海支部 (株)セイノー情報サービス 見学会	(株)セイノー 情報サービス	3月29日(水) ～30日(木)	先着順(50名)	36-2 37p	海

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
 注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。
 注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係,
 北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部, 九:九州支部。
 各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

平成7年度役員選挙について

本会定款第20条にもとづき、来る5月19日(金)開催の第37回通常総会をもって本会役員の半数が退任します。平成7年度の役員選挙は、2月初旬に別途送付しました投票用紙(往復はがき)により行いますので、正会員各位は下記の要領により、同投票用紙にてもれなく投票をお願いいたします。

投票用紙記載の候補者は、有権者の参考にとすために、本会理事会が推薦したものです。これらの候補者の中から選定される場合は、下記の候補者名簿をご参照のうえ投票してください。ただし、これらの候補者以外の会員(正会員に限る)を選定される場合は、それぞれの区分の空欄に氏名、所属をご記入ください。

記

1. 別送の投票用紙(返信はがき)の選定欄に○印をおつけください。
2. 会長、副会長、監事は1名の単記、理事は、教育分野では2名以内、製造分野では3名以内、利用他分野では3名以内の連記とします。これをこえた場合は無効となりますので、ご注意ください。
3. 改選定数は、会長1名、副会長1名、監事1名、理事8名です。
4. 投票の締切は、平成7年3月6日(月)の必着といたします。
5. 投票用紙(はがき)は料金受取人払ですから、切手を貼付する必要はありません。
6. 投票用紙記載の候補者は50音順です。
7. 1月20日(金)現在で本年度会費未納者には投票用紙は送付いたしません。

平成7年度役員改選候補者名簿

(氏名は五十音順、年は元号に統一)

役職名	候補者氏名 (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成7年1月現在)	略歴・専門分野等
会長	野口 正一 (東北大29卒)	日本大学工学部教授	昭29年3月東北大学工学部電気工学科卒。昭46年1月同電気通信研究所教授。昭59年4月同計算センター長。平2年4月同応用情報学研究所センター長。平5年4月日大教授。専門分野：情報基礎論、情報ネットワーク構成論。
	<p>【抱負】 本情報処理学会は21世紀に向けて我が国が情報・通信の分野で世界のリーディングカントリーとしての地位を築くための最も重要な組織であると認識し、会員の方々とともに下記の5つのテーマを重点的に推進したいと考えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次世代情報・通信基幹技術の研究・開発の促進と支援 2. 先端的情報・通信技術の学会員に対する十分な啓蒙活動 3. 新しい情報・通信産業における国際標準、業界標準策定に向けての施策 4. 将来に向けて有為な人材育成のための施策 5. 国内、アメリカ、ヨーロッパ、特にアジア地域の関連学会との連携とより活発な交流 		
副会長	鶴保 征城 (阪大39卒)	NTTデータ通信(株)取締役 技術開発本部副本部長	昭39年3月大阪大学工学部卒。昭41年同大学院工学研究科修士課程修了後、日本電信電話公社にて、リアルタイム用オペレーティングシステム、ソフトウェア工学の研究に従事。平5年よりNTTデータ通信(株)に勤務。工学博士。
	<p>【抱負】 現在、情報処理分野はマルチメディア、情報スーパーハイウェイ等急速な変革が進んでいます。このような変革を推進していくためには、学会を構成する大学・研究機関の研究者と企業の技術者との協調が不可欠です。この両者、特に企業のシステムエンジニアに魅力ある学会誌、研究会等の在り方を検討し、会員相互の連携を密にするメディアとして本学会が活用されるよう努力する所存です。更に、普及の著しいインターネット、CD-ROMを駆使した情報発信について考えていきます。学会で取り組んでいる標準化活動や研究・開発成果を広く、速く会員に周知し、会員サービスの向上に努めたいと考えております。</p> <p>以上、本学会が近未来の情報処理社会構築のための牽引者となる事を切望し、全力を尽くす所存です。</p>		
	棟上 昭男 (東大35卒)	情報処理振興事業協会(IPA) 理事	昭35年東大工学部卒、昭37年同大学院修士課程、昭41年同博士課程修了(工学博士)。同年通産省工業技術院電気試験所(現電子技術総合研究所)入所、ソフトウェア部長、情報アーキテクチャ部長等を経て平3年3月同所を退職。同年3月より情報処理振興事業協会(IPA)理事。画像認識、高度並列処理システム、分散処理などの研究に従事。昭46年本会論文賞受賞。昭59~60年本会理事。本会情報規格調査会長。
<p>【抱負】 本格的なネットワーク時代に入って、情報流通のあり方にも大きな変化が訪れようとしている。それとともに学会の役割も変わってゆかざるをえない。これまでは当学会も会員数に見られるように、ひたすら巨大化路線を走ってきた。しかしながら、どの様な組織にも適正なサイズがあるはずであり、大きければ良いというものでもない。また学会にも寿命があって、未来永劫に存続すべき存在だというわけでもないだろう。本学会は、既に適正サイズに近い、青年期を過ぎて油の乗りきった壮年期に入ろうとしている組織だと考えられる。情報分野の将来を見すえた適切な組織のあり方を検討し、弛まない改善を行ってゆくことが必要だろう。そもそも情報技術は、新しく生れた独立した技術領域なのであり、古い枠組みに捕われぬ考え方や、行動が要求される。EE&CSの時代は過ぎ去った。連合大会なども、早急に見直すべき行事の一つだろう。学会誌や論文誌についても継続的に検討が行われ、改良されてきているが、内容のより一層の充実とハンディ化が求められる。小さいことのようにだが、A4判化も是非早急に実現されるように働きかけてゆきたい。</p>			

役職名	候補者氏名 (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成7年1月現在)	略歴・専門分野等
監事	稲垣 康善 (名大37卒)	名古屋大学工学部教授	昭37年3月名古屋大学工学部電子工学科卒。昭42年3月同大学院博士課程修了。同大助教授、三重大学教授を経て、昭56年より名大教授。この間、スイッチング回路理論、オートマトン・言語理論、計算論、ソフトウェア基礎論、代数的仕様記述・検証、プログラム自動生成などの研究に従事。前本学会理事。
	<p>【抱負】 本学会は、情報処理に関する学術、技術の進歩発達をはかり、会員相互間および関連学協会との連絡研修の場となり、もって学術文化に寄与することを目的とする。この目的を達成するために、全国大会の開催、調査研究活動、学会誌、論文誌、学術図書等の刊行、国際活動、その他の諸活動を行っているが、現在、これらの諸活動の在り方と実施体制の抜本的改革を検討する時期にあると思う。会員数が3万を越え会員の興味のスpektrumは非常に幅の広いものになり、また、情報処理に関わる分野は技術的にも学術的にも益々広がりを見せている状況の中で、学会が会員の多様な要望に速やかにかつ柔軟に応えることができるような新しい時代にあった体制にすることがこれまでも必要になっているからである。また、国内外の状況が種々の意味で流動的になり、財政的にも安定した学会運営の体質を作ることが強く望まれるとともに国際的に本学会が情報処理分野でリーダーシップを発揮できるような体制が求められている中である。</p> <p>このような状況をよく認識し、先の2年間(平成4、5年度)の本学会理事担当の経験を活かして、本学会の活性化のために微力ではあるが尽力したい。</p>		
監事	牛島 和夫 (東大36卒)	九州大学工学部教授	昭36年3月東京大学工学部卒。昭52年九大工学部情報工学科教授・計算機ソフトウェア講座担当。当学会では、昭62-平元年理事。現在、情報処理教育カリキュラム調査委員会委員長、テクニカルコミュニケーション研究グループ幹事。
	<p>【抱負】 バブル経済の崩壊後、当学会も会員数増加の鈍化が問題となっている。鈍化の原因は社会の情報化がいつそう進んだことにもあると考える。30有余年当学会は情報技術や情報科学の発展に多大な(多くは、わが国唯一の)貢献をしてきた。現在、多くの分野が情報技術・情報科学の恩恵に浴し関連を持つようになって、当学会に入らなくても「情報」に関わることができると思われているのではないか。このような状況に対して、当学会のアイデンティティを点検・評価してアピールすることが重要である。もう一つの観点は現会員の要求・動向を的確に把握することである。1991年度九州支部長を務めた際に、支部所属会員数1147名の中に174名の会員を擁する組織がある一方で、1会員のみが129組織あった。大きな組織から取り掛かるのは効果的かつ効果的である。一方で、周囲に同好(同学)の士がいらない中で会員となっておられる方々にとって魅力ある学会にすること、それぞれの組織で1を2にする核となっていただけのようにすることも重要である。</p>		
理事	石塚 満 (東大46卒)	東京大学工学部教授	昭46年6月東京大学工学部電子工学科卒。昭51年3月同大学院博士課程修了、工学博士。同年NTT入社、横須賀研究所勤務。昭53年東大・生産技術研究所、助教授(昭和55から1年半:米国バドュー大学電気工学科、客員準教授)。平4年東大・生産技術研究所教授。同年同・工学部電子情報工学科教授、現在に至る。専門分野:知能情報工学。
	<p>【抱負】 これまでの情報処理技術の発展、進化に伴って学会は発展してきたが、今後の情報環境、産業の変化に対応して必要とされる情報処理技術も変貌していく。本学会が魅力ある学会であり続けるには、このような変化を的確にとらえ、その基礎の充実に応用の広がり促進する活動を創設、支援していく役割を果たすことが重要である。特に、若い研究者は新領域、新技術に強い興味と関心を持ち、これらの領域を切り開く上で重要な役割を果たすことから、学会の活動に若手研究者の考えを反映させることが重要となる。</p> <p>本学会が新領域に積極的に対応すべきといっても、これまでと同じ様なやり方では経費の面で困難が生じる。このような制約のもとで魅力ある学会としての役割を果たすため、電子メディアの積極的活用とボランティア的活動を可能とする環境整備等が重要と考えている。研究会主査を務めた経験を活かし、今後とも魅力ある学会とするために努力したい。</p>		
	小野 欽司 (東大37卒)	学術情報センター 研究開発部 教授	昭37年東大物理卒、47年スタンフォード大学電気修士修了、KDD研究所において衛星通信、コンピュータ通信の研究に従事。研究所長をへて平5年より文部省学術情報センター教授。工博。本会では国際委員など。専門分野はネットワーク、分散マルチメディア
分野	<p>【抱負】 情報技術の社会への浸透が一段と進んでいるが、これを支える基盤となる学会の役割は余り大きいとはいえない。社会とのインタラクションを考えながら、学会活動をより活性化させ、効率的に会員サービスを充実させるため電子的手段による活動、サービス支援体制の導入をはかる。具体的には、多様な層の会員に対するアクセシビリティの向上をはかったり、学会の会誌、論文、研究会資料などの出版物については、将来の電子出版やデジタルライブラリー化に備えて、他機関と協力して望ましい方策をたて実行に移したい。</p>		
	田中 譲 (京大49卒)	北海道大学工学部教授	昭49年3月京都大学工学部卒。北大電気工学助手、講師、助教授を経て平2年より現職。学会国際委員・論文編集委員・情報メディア研究会主査。並列処理アーキテクチャ、データベース理論、データベース・マシン、メディア・アーキテクチャ(IntelligentPad)の研究・教育に従事。
<p>【抱負】 ハードウェア、ソフトウェアの別を問わず、アーキテクチャの分野で日本の国際貢献が少ないことが気にかかる。処理速度、処理容量、信頼度、価格のように尺度がある目標に関しては諸外国をリードしていたが、多様性、易用性のように尺度を持たない目標に関して弱い。How?でなくWhat?が重要であると言われてから何年かたつたが、What?を見つけるための教育や研究開発戦略に関しては議論されていない。D.Engelbart博士はアーキテクチャの研究開発においては、'to live in the system' を実践し、システムと研究開発者が共進化することが重要であると力説する。また、米国の研究開発者は、自身の技術で社会をより良くしたいというジェファソンニアン理想をよく語る。理想と野望が一致した精神を持ち、'to live in the system' を実践できる若手研究者を育てることが急務である。情報処理技術を技術としてのみならず、文化としても捕え、両者の共進化を学際的議論を通じて図って行きたい。</p>			

役職名	候補者氏名 (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成6年1月現在)	略歴・専門分野等
理 事 分 野	富田 眞治 (京大43卒)	京都大学工学部教授	昭43年3月京都大学工学部卒。九大総理工教授を経て平3年現職。VLIW方式などの先駆のプロセッサ研究を経て、現在超並列計算機JUMP-1、超高速グラフィックスマシンなどを研究中。論文賞受賞2回。国際委員、論文誌編集委員、計算機アーキテクチャ研究会前主席。
	<p>【抱負】 日本の情報処理に関する研究開発を見ていると欧米追随型が圧倒的に多いのではないかとと思われる。これは日本人の発想法・ものの見方、経済戦略によるところが非常に大きいかもしれない。しかし、円高に伴う産業の空洞化現象が加速されるなか、独創的な基盤技術の確立が従来にも増して不可欠となっている。情報処理学会は巨大化から生じる悩みに苦しんでいるように見えるが、学会の第一義的な存在価値は研究者・科学技術者の独創的研究の鼓舞/支援にあるといえる。国際的にみて、世界標準となりうるような、多彩で斬新な情報発信が学会活動を通じてもっとなされねばならない。このことをベースに据えた学会の改革を考えたい。学会の研究会、国際シンポジウムやワークショップの開催などにおいて、最近の若い研究者は実に多くの時間をさいて誠実に奉仕している。これらの自由な発想に基づいた努力が報いられる学会としたい。</p>		
製 造 分 野	亀田 勇 (同志社大 38年卒)	三洋電機(株) (三洋インフォメーション ビジネス(株)取締役社長)	昭38年3月同志社大学工学部電気工学科卒、三洋電機入社。昭54年中央研究所 研究室長として言語処理の研究。昭62年情報通信システム研究所所長。平4年情報機器事業本部事務機器事業部長。平5年三洋インフォメーションビジネス(株)社長に就任。現在に至る。
	<p>【抱負】 今、日本は世界経済の最先端を走っている。世界の0.3%の国土面積の中に住む2%の人口の人間が世界の16%のGDPをあげているのは、科学技術の産業応用に長じ、真面目な国民性に負う所が大きい。ところが日本の100分の1の賃金で働いている人達が東南アジアを中心に20億人も居て、ようやく活発な経済活動を始めてきた。そこでだんだん物作りでは国内で利益をあげるのが困難となってきた。時まさにマルチメディア時代の幕開けで、技術的にも産業的にも最も関心の寄せられる分野となっている。これを支えるのは情報関連技術である。情報技術を活用する産業人の立場で、この発展に参画し微力ながら役に立ちたいと思う。</p>		
	河田 亨 (阪大41卒)	シャープ(株)取締役 技術本部副本部長	昭41年3月大阪大学工学部卒。昭60年同大工学部電子工学科助教授。同年シャープ(株)入社。技術本部コンピュータシステム研究所副所長。昭62年同研究所長。平2年同技術本部情報技術開発センター所長。平3年同技術本部副本部長。平5年取締役技術本部副本部長。同年ソフトウェア研究所所長兼任。現在に至る。
	<p>【抱負】 パソコンの高機能・高性能化と普及が同時進行する中で“マルチメディア”に代表されるコンピュータ技術(デジタル技術)のあらゆる産業・社会生活への普及が始まろうとしている。このようなハードの普及が促進される中、ソフトウェアの革新が極めて重要になってきた。社会が求める(目指す)新しいサービス・機能と、ユーザとシステムのより自然な対話環境の創出に向け、産業界がフィールドワーク(市場でのユーザの活動状況の調査・分析・将来予測)を通してソフトウェアモデルの原型を考察し、大学・研究機関の学術研究につなげ、また学術研究で得られたモデルの実環境への適用を通して、モデルの改良、新モデルの創出につなげてゆく社会的使命を果たせるよう尽力したい。特に、産業活動、学術活動、社会活動の上記の意味の循環の中で、情報処理学会が世界のソフトウェア技術のリーダーとしての立場を維持できるよう積極的に潤滑油の役目をしたい。</p>		
高橋 栄 (東大40卒)	(株)日立製作所 システム開発研究所副所長	昭40年東京大学卒。同大学院穂坂衛教授に師事し、昭45年博士課程修了。日立製作所中央研究所に入社しCG、OS、コンパイラの研究に従事。昭61年ソフトウェア工場A工部長。平3年中央研究所副所長。平5年より現職。	
<p>【抱負】 当学会は既に情報科学/工学の分野で質量ともに日本を代表する学術団体であり、幸いにして今回その運営の一端を担う機会を与えられれば、学会活動の「大衆化」に力点を置いて微力を尽したい、と考えている。コンピュータ産業を取り巻くここ数年の状況変化で最大のもはそのコモディティ化であろう。今や、小中学生が通学途上でパソコンソフトの自慢話をする時代である。この「大衆化」はしかし一方で、深刻なコンピュータ・リテラシーの問題をはらんでいる。このようなコンピュータの与える社会的影響に対応して、当学会の活動もより一般社会に開かれた、「大衆に手を差し伸べる」ものに拡大されるべきと信ずる。反面、この方向の活動が学会の学術水準の低下を招いてはならないし、古典的な「学会」のイメージに拘る方からの反論も予想される。活動の多様化に対する運営上の工夫や与えられた財政事情の下で、学会として何をやるべきか、やれるかを会員各位と共に考えたい。</p>			
似鳥 一彦 (北大37卒)	沖電気工業(株) 特別主席研究員	昭37年3月北海道大学工学部電気工学科卒。同年沖電気工業(株)入社。現在、同社研究開発本部特別主席研究員。昭49年工学博士。通信理論、水中音響信号処理、情報システムの研究に従事。	
<p>【抱負】 最近のパソコンおよびインターネット利用の広がりには目を見張るものがあり、高度情報化社会の実現も間近と思わせます。しかし、情報技術の発達に伴い、その研究開発分野の細分化、専門化が進み、情報技術の世界の全体像を把握することが非常に難しくなっています。健全な情報化社会の実現のためには、バランスのとれた情報技術の発達が必要であり、そのためには情報技術の全体像を理解できる技術者を数多く育成することが望まれます。私は、学会役員に当選した暁には、社会のニーズを理解し、そのニーズに応えられる、バランス感覚に優れた技術者の育成に微力を尽くしたいと考えます。</p>			

役職名	候補者氏名 (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成6年1月現在)	略歴・専門分野等
製造分野	船津 剛男 (早大38卒)	(株) 東芝 技監	昭38年3月早稲田大学理工学部卒。東芝のコンピュータ開発設計部門で主に基本ソフトウェア開発業務に23年間、コンピュータ事業部門で技術部長・技術長等の技術行政に7年間従事。平5年現職。現在特にオブジェクト指向技術とCASEに関心を持ち注力している。
	<p>【抱負】 情報処理技術の優劣が日本の21世紀を左右するといっても過言ではない。産学の情報処理技術に係わる多様な会員が参加している情報処理学会の役割と責任は大なるものがある。学会は学術的研究成果の発表と交流の場を提供すると同時に、普段学会活動に縁遠い会員層に会員であることの魅力を感じてもらえるような学会運営と活動が求められていると言ってもよいであろう。このような観点から、今後いっそう注力すべき課題5項目を以下に挙げてみた。</p> <p>(1) 情報処理技術に携わる者の社会的地位の向上 (4) 産業界と学問研究府の間のさらなる交流促進 (2) 専門的技術を分かりやすく伝える学会誌作り (5) 社会の人々に広く学会をPRし知名度を向上 (3) 開かれた学会を目指し他分野との活発な交流</p> <p>このような取組みを通じて学会の発展にいささかなりとも貢献できるように念じて立候補の抱負とする次第である。</p>		
	真名垣昌夫 (阪大42卒)	日本電気(株) 関西C&C研究所 所長	昭44年大阪大学基礎工学部修士課程卒。同年日本電気(株)入社。中央研究所にて、データベース、CAD、A応用、ヒューマンインタフェースの研究開発、指導に従事。現在、関西C&C研究所長。情報処理学会調査研究運営委員会1号委員。
	<p>【抱負】 我国における情報処理分野を代表する学会として、本分野関連の将来学術・技術の発展方向、それを反映した生活・社会行動の方向を学会活動を通じて指し示すことが重要である。また、情報処理技術の急激な展開やオープン化に対応して、より活発なそしてダイナミックな活動が期待されていると考えている。</p> <p>世界に通じる研究と新たなコンセプトをうみだし、革新技術成果を創出する環境を醸成する学会活動を、そして先端技術が人々の活動/思考を高揚させ役に立つための幅広い活動を心がけたい。会員にとり魅力ある学会活動を行うために、さらに異分野/他学会の人々と互いに切磋琢磨できる活動の場であるためにも、世界最先端の生きた情報を分かりやすく容易に獲得できる、また多様な人々が参加した燃える議論から研究を加速できる、「いきいきとした学会」を形成するためお役にたちたい。</p>		
利用分野	鈴木 健二 (早大44卒)	国際電信電話(株) 研究所グループリーダー	早稲田大学にて、磁気記録方式の研究に従事。昭51年KDD入社以降、研究所にて、パケット交換方式、OSI(開放型システム間相互接続)、ATM(非同期転送モード)、高速・分散処理の研究開発に従事。元学会誌編集委員、現研究会幹事。
	<p>【抱負】 この2年間、マルチメディア通信と分散処理研究会の幹事として、研究会、ワークショップ、シンポジウム、国際会議の運営、ならびに全国大会の座長を経験する中で、いくつかの問題点に直面している。このため</p> <p>(1)若手研究者の研究が論文誌論文にまで結実していない現状があり、論文誌投稿を促進させる。 (2)研究会では、テーマを設定した研究会を増やすほか、一般の論文でも、例えば、事前に該当分野の専門家をコメンテーターとして招請したり、研究会連絡委員の参加と発言を増やすなど、研究会の活性化を図る。 (3)全国大会では、研究会と類似した改善が必要であるが、セッション毎に似かよったテーマの論文が集まりやすいため、総括や将来課題などの招待講演や、講演者同士での討論など、座長の創意・工夫を応援する。 (4)IEEEやIFIPなどとの協力に加え、アジア地域の研究者とも積極的な国際交流を進める。</p>		
	塚本 享治 (東大47卒)	電子技術総合研究所 情報アーキテクチャ部 分散システム研究室長	昭47年4月東京大学工学部卒。電総研にて、知能ロボット用ソフトウェア、ディスプレイの研究のうち、コンピュータネットワーク、分散・並列処理基盤ソフトウェアの研究開発に従事。元、会誌編集委員、情報規格調査会SC21/WG6(OSI上位層)主査。
	<p>【抱負】 理事に立候補するにあたり、ここ1年間の会誌巻頭言を読んでみた。大学、企業、学会における見直しの話題が多い。学会についてみれば、学会活動の活性化による会員増加と財務体質改善が課題であるらしい。3万人の会員は、学術研究に携わる人から現場の管理者・技術者まで広い範囲にわたっている。にもかかわらず、理論と実践が乖離しがちな学会誌編集、裾野の技術者が近づきたい研究会運営、紺屋の白袴のような学会活動支援などが行われていると思うのは私だけであろうか。コンピュータネットワークを情報公開と情報交換に積極的に使うことにより、学術研究成果、技術的課題、社会的要請、などが自由に議論しあえる雰囲気場の提供を図り、開かれた身近な魅力ある学会にするよう努力したい。最近興味をもっているネットワーク化社会における個人と組織と社会の問題への考察が学会運営と学会活動の活性化に役立てられるのではないかと思います。</p>		
槻木 公一 (東大44卒)	鉄道総合技術研究所 SI事業推進部 部長	昭44年5月東京大学工学部卒。国鉄にて座席予約システムの研究と開発に従事。国鉄民営分割後、鉄道総合技術研究所にて情報システムの開発方法論などの研究と部内外システムの開発業務に従事し、平成5年より現職。元会誌編集委員・研究会幹事・国際会議委員。	
<p>【抱負】 20何年か前に会員となって、会誌の編集や研究会の運営などのお手伝いをしてきましたが、その間の会員数の増加にもかかわらず、学会活動レベルは大きくは変化していないのではないかと感じています。情報処理分野の水平的拡大によって活動力が分散したことに加え、増加した「顔」の見えない会員のもつ力の活用はまだ成功していないことも一因だと思います。学会運営の基本のひとつは、言うまでもなく全員参加のボランティア活動であり、その結果として個々には時間的、肉体的、精神的な負担を少なくし、本来の学会活動レベルを向上させるべきものと思います。多くの会員が様々な「ボランティア」として参加できるのは現時点では研究会活動であり、単なる発表と聴講の場でなく、「もの」が言えて人のネットワークが作れる場としても期待できるような、魅力ある研究会作りと参加のし易さを推進していきたいと考えています。</p>			

役職名	候補者氏名 (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成6年1月現在)	略歴・専門分野等
利用分野	松田 晃一 (京大43卒)	日本電信電話(株) NTTグループ推進事業本部 ATR企画部長	昭43年3月京都大学工学部卒。NTT研究所にてデータ通信用OSの研究開発、システムの性能評価、ソフトウェア開発技術などの研究に従事。平5年よりATRに出向中。学会規格調査会理事、査読委員、元学会論文誌編集委員。
	<p>【抱負】 現在勤務しているATRは関西学研都市に立地している。東京に勤務していた時はさほど感じ無かった東京一極集中が、関西にきてみると実感として感じさせられることが多い。学会活動もしかりである。しかし、この関西はもちろん、それぞれの地域で、組織や分野をまたがって地元の技術者や研究者が交流し、切磋琢磨する場が草の根的に生まれ、それが多くの人の情熱と努力によって大事に育てられている。このような学会活動の原点ともいえる活動を、学会として旨く支援できればと感じる。各地域毎の特色あるミニコミュニティの活動こそが学会の活力の素であると思うからである。幸いにして、役員に選出されたなら、このような地域から見た目を大切に、少しでも学会活動にお役に立ちたいと考えている。</p>		

[参考]

平成6年度留任役員名簿

役員名	氏名	勤務先
副会長	長尾 真	京大
監事	発田 弘	N E C
理事	荒川 弘熙	N T T データ
理事	池田 克夫	京大
理事	池田 俊明	日立
理事	岩野 和生	日本 I B M
理事	浦野 義頼	K D D
理事	笥 捷彦	三菱
理事	川田 圭一	三菱
理事	村岡 洋一	早大
理事	森田 修三	富士通研

退任役員名簿

役員名	氏名	勤務先
会長	水野 幸男	N E C
副会長	平栗 俊男	富士通
監事	高橋 延匡	農工大
理事	雨宮 真人	九大
理事	安西 祐一郎	慶大
理事	河岡 司	N T T
理事	久保 隆重	日立西部ソフトウェア
理事	鈴枝 進	鉄道情報システム
理事	山本 昌弘	N E C
理事	弓場 敏嗣	電通大
理事	米田 英一	東芝

研究発表会開催通知

(平成7年3月1日～3月31日)

◆第10回 グループウェア研究会

(発表件数：11件)

(主査：松下 温，幹事：岡田謙一，守屋康正，山上俊彦)

日時 平成7年3月2日(木) 9：30～17：20

会場 横浜ランドマークタワー 19F A会議室

[横浜市西区みなとみらい2-2-1. JR(京浜東北線)，東急東横線：桜木町下車，徒歩5分. Tel.(045)224-2649 (18F三菱電機受付)]

議題

[9：30～11：50]

- (1) グループ利用クライアント/サーバ・システムのセキュリティ対策
大前義次，荒木智行，小高泰陸，平山 勉(神奈川工科大)
 - (2) 共同作業によるオンラインマニュアル作成システムの設計と初版の実現
森 宗弘，早川栄一，並木美太郎，高橋延匡(農工大)
 - (3) ドローイングが可能なアプリケーション共有システムの開発
奥村晃弘，田川忠道，宮崎敏彦(沖電気)
 - (4) 電子メールの利用頻度と対人関係
井下 理，堀田栄里子，橋本 岳(慶大)
- [13：05～17：20]
- (5) 組織概念に基づくエージェント間コミュニケーションについて
小野良司，李 殷碩，白鳥則郎(東北大)
 - (6) A Model of Cooperative Agent and its Application to Information Retrieval
岡田ロベルト，李 殷碩，白鳥則郎(東北大)
 - (7) マルチフェースエージェントを用いたヒューマンコミュニケーションのためのツール
小山和也(東北大)，布川博士(宮城教育大)，白鳥則郎(東北大)
 - (8) 並行設計における調整コミュニケーション支援システム
田淵 篤，吉村研治，垂水浩幸(NEC)
 - (9) 対面同期型グループウェアの評価指標の提案
坂本 啓，新井克也，桑名栄二(NTT)
 - (10) プラント運転保守協調作業支援システム
邑岡園子，大井 忠(三菱電機)
 - (11) マルチプラットフォーム対応コンピュータ会議システムの開発と応用
太田哲生，平山愛子，貫井春美，津田淳一郎(東芝)

◆第59回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数：13件)

(主査：安西祐一郎，幹事：井関 治，小川克彦，来住伸子)

日時 平成7年3月2日(木) 13：00～17：00

3日(金) 10：00～15：50

会場 金沢工業大学 工学基礎実技センタ

[石川県石川郡野々市町扇が丘7-1. JR：金沢下車，バス(工業大学行)：工大前下車(約30分)。または小松空港から金沢市内連絡バス：香林坊下車(約60分)，道路反対側のバス停からバス(工業大学行)：工大前下車(約20分) Tel.(0762)94-6710]

議題

3月2日(木)

[13：00～14：45] ●ペン入力インタフェース

- (1) 速記型ペン入力方式の検討
堀井真吾，菊池 猛，千葉玉美，赤池英夫，角田博保(電通大)
- (2) 予測ペン入力インタフェースとその手書き操作削減効果
福島俊一，山田洋志(NEC)
- (3) ペン入力のための楕円型仮想キーボードの提案
橋本美奈子，富樫雅文(お茶の水女子大)

[15：00～15：35] ●文書インタフェース

- (4) 文書構造を利用した図形自動配置の高速化
獅々堀正幹，青江順一(徳島大)

[15：50～17：00] ●ロボットシステムインタフェース

- (5) 自律移動ロボットの使いやすさ向上のためのユーザ支援システム
藤城華子，平松 薫，安西祐一郎(慶大)
- (6) ユーザ識別システムのロボットへの実装
平松 薫，山本吉伸，安西祐一郎(慶大)

3月3日(金)

[10：00～12：00] ●聴覚化と視覚化

- (7) 音声メニュー同時提示方法の提案と評価

河本敏志, 竹村治雄, 片山嘉章 (奈良先端大), 萩原兼一 (阪大), 横矢直和 (奈良先端大)

(8) 階層情報の3次元視覚化に関する評価

土本光一, 竹村治雄, 片山嘉章 (奈良先端大), 萩原兼一 (阪大), 横矢直和 (奈良先端大)

(9) 図解の概念構造抽出と視覚表現への変換

浜崎省吾, 杉下幸司 (松下電器)

[13:20~15:50] ● GUI

(10) ユーザレベルでカスタマイズ可能な GUI 部品の交換, 付加機能

佐藤博之, 増田英孝, 笠原 宏 (電機大)

(11) 非エキスパート向け 3D-GUI 構築支援環境

及川昌孝, 李 殷碩, 白鳥則郎 (東北大)

(12) フレキシブルな UI 開発方法論とその支援環境の構成

徳田佳一, 李 殷碩, 白鳥則郎 (東北大)

(13) 使いやすさ評価ツール「GUI テスタ」の提案

岡田英彦, 旭 俊之, 井関 治 (NEC)

◆第 69 回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 17 件)

(主査: 白鳥則郎, 幹事: 鈴木健二, 滝沢 誠, 寺中勝美)

日 時 平成 7 年 3 月 2 日 (木) 13:15~17:00

3 日 (金) 10:00~16:30

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F. JR: 田町 (東口) 下車, 徒歩 7 分. または地下鉄 (浅草線, 三田線): 三田下車, 徒歩 10 分. Tel.(03)5484-3535]

議 題

3 月 2 日 (木)

(1) 自立分散指向のスケジュール管理システムの開発

佐々木健一, 田中幹夫, 後藤浩一, 明星秀一 (鉄道総研)

(2) 一般合意プロトコル

矢羽田千哲, 坂井淳子, 滝沢 誠 (電機大)

(3) Information Flow Control in Group Communication

三田浩也, 滝沢 誠 (電機大)

(4) 分散システムにおけるデータ更新性能解析と更新アルゴリズムの提案

宮西洋太郎 (三菱電機), 中村健二, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)

(5) 相互接続性向上のための試験内容の検討

後藤邦弘, 今野貴洋, 澤井克哉, 旗福正俊, 鈴木真治, 風間敬一 (AIC)

(6) Use of BAN Logic for Information Integrity

村山優子 (広島市立大)

(7) ソフト TCCA(S) とその開発検証システムの構築について

中野宣政 (三菱電機), 安藤 勉, 太田 賢, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)

3 月 3 日 (金)

[10:00~12:00]

(8) 分散マルチメディアシステム DMSIC における同期機構の実現と評価

大野隆一, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)

(9) マルチメディア遠隔提示システムの設計に関する一検討

大野隆一, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)

(10) シナリオに基づいたマルチメディア転送プロトコル

清水省悟, 柴田義孝 (東洋大)

(11) 分散マルチメディアデータベースシステムのための協調型エージェントの機能および性能評価

石原 裕, 広瀬直美, 勝本道哲, 柴田義孝 (東洋大)

[13:15~16:30]

(12) 協調作業用マルチメディア遠隔会議システム~その 1, コンセプトと基本設計~

小泉寿男, 鈴木昌則 (三菱電機), 白鳥則郎 (東北大)

(13) 自然言語インタフェースに基づいた電子秘書システムの構成

谷垣宏一, ゴウタム・チャクラボルティ, 白鳥則郎 (東北大)

(14) 時間制約付 LOTOS で記述された分散システムの全体仕様から各ノードの動作仕様の自動生成

中田明夫, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

(15) LOTOS を応用した通信ソフトウェア設計支援環境の研究

坪根宣宏 (高度通信システム研究所)

(16) 通信システムの形式的仕様記述言語の教育支援システムの設計

朴 炳昊 (東北大), 朴 美郎 (三菱電機), 李 殷碩, 白鳥則郎 (東北大)

(17) 共有メモリ型マルチプロセッサを用いた通信プロトコルの並列処理方式

加藤聰彦, 鈴木健二 (KDD)

◆第 99 回 人工知能研究会

(発表件数: 23 件)

(主査: 中島秀之, 幹事: 加藤 浩, 沼尾正行, 橋田浩一)

日 時 平成 7 年 3 月 6 日 (月) 9:20~18:00

7 日 (火) 9:00~17:20

会場 情報処理学会 会議室（芝浦）（所在地は前記参照）
議題 特集：マルチエージェントとゲーミング、および一般

3月6日（月）

[9：20～11：50]

- (1) マルチエージェントシステムにおけるゲーム環境の利用に関する研究 吉村 潤, 嘉数侑昇 (北大)
- (2) エージェントの挙動の表現法について 五坪賢次, 笹倉万里子, 荒木啓二郎 (奈良先端大)
- (3) ハイパーゲームの学習システム論的分析およびマルチエージェント研究への展開可能性の考察
兼田敏之 (愛知県立大), 木谷 忍 (東北大), 新井 潔 (近畿大)

(4) 招待講演：AIと将棋

飯田弘之 (電総研/将棋プロ棋士)

[12：50～15：50]

- (5) 四人将棋におけるプレイヤーの協調競合過程に関する研究 伊藤毅志, 杉本新也, 古郡延治 (電通大)
- (6) 招待講演：エンタティメント・ゲームソフトに於けるAI 多摩 豊 (ゲームソフト評論家)
- (7) バーチャルエコノミーゲーミング 出口 弘 (国際大), 諸井孝信 (埼玉大)

(8) 接客行動を訓練するシミュレーションゲーム・ソフトウェア

村本理恵子 (専修大), 兼田敏之 (愛知県立大), 田辺順子 (東京芸大)

(9) WWWを用いたネットワーク型ノミックゲーム

五十嵐寧史, 松井啓之 (東工大)

(10) パネル討論 (16:00～18:00)：AIとゲーミング

司会：中島秀之 (電総研)

パネラ：竹内郁雄 (NTT), 兼田敏之 (愛知県立大), 出口 弘 (国際大), 橋田浩一 (電総研)

多摩 豊 (ゲームソフト評論家), 飯田弘之 (将棋プロ棋士)

3月7日（火）

[9：00～11：30]

(11) 確率学習機構を有する遺伝的アルゴリズムの集団対戦型ゲームへの適用

富川裕樹, 棟朝雅晴, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)

(12) 強化学習を用いたサッカーゲームモデル

久保正男, 嘉数侑昇 (北大)

(13) ノイズ入り四人のジレンマトーナメント大学対抗戦 矢野周一, 富田 勝 (慶大), 星野 力, 伊藤秀昭 (筑波大)

(14) C*アルゴリズムによるAND/OR木の探索および詰将棋プログラムへの応用 脊尾昌宏 (東大)

(15) ゲーム・プレイングにおける勝負手 松原 仁, 飯田弘之 (電総研)

[12：30～14：30]

(16) マルチエージェントを用いた‘Calculation’プレイ支援システムの検討

藤井大輔, 小堀 聡 (龍谷大), 中村 孝 (大阪産業大)

(17) イラストロジックパズルを解くアルゴリズム

菊池浩明 (東海大)

(18) コミュニケーションのゲーム理論的分析

橋田浩一 (電総研), 長尾 確 (ソニー CSL), 宮田高志 (東大)

(19) 論争推論による不完全情報下における意志決定

織田 充 (富士通研)

[14：50～17：20] ●一般発表

(20) 状況に応じた戦略選択による実時間プランニング 月岡陽一, 鈴木英之進, 志村正道 (東工大)

(21) 世界未来推論手法とリスクリッチ問題 吉川成人 (秩父小野田)

(22) 論理プログラムの自動検索・統合・発見 有馬 淳 (富士通研)

(23) 数値データの論理的推論 月本 洋 (東芝)

(24) ファジィ帰納学習による非離散属性の扱い 櫻井茂明, 荒木 大 (東芝)

*日本シミュレーション&ゲーミング学会協賛。

◆第74回 設計自動化研究会

(発表件数：8件)

(主査：中村行宏, 幹事：小川 泰, 松田庸雄, 安浦寛人)

日時 平成7年3月8日（水）10：00～16：40

会場 九州大学大学院 総合理工学研究科 情報システム学専攻棟 2F 設計実習室 I-204

[春日市春日公園 6-1. 博多駅からJR (鹿児島本線)：大野城 (二日市方面へ5駅目) 下車, 徒歩5分. または福岡駅から西鉄大牟田線：白木原下車, 徒歩15分. Tel.(092)573-3611(ext.411)]

議題

[10：00～12：00]

(1) 枝刈り機能付きBDDパッケージとその応用 越智裕之 (広島市立大)

(2) MTTDDを用いたAND-EXOR論理式の最小化法について 笹尾 勤, 泉原史幸 (九工大)

- (3) PKDDに基づくAND-EXOR多段論理回路構成法
[12:00~16:40] 笹尾 勤, 浜地 啓, 和田精三 (九工大)
- (4) GRMIN:一般化リードマラー論理式の簡単化プログラムについて デバトシ・デブナス, 笹尾 勤 (九工大)
- (5) 対称関数を表現するESOPの簡単化法について 神田徳夫 (徳山高専), 笹尾 勤 (九工大)
- (6) 多層配線におけるスケッチ生成のための一手法 金沢正博, 佐藤政生, 大附辰夫 (早大)
- (7) アナログモジュールを対象としたレイアウトシステムの構築 西部 隆, 磯道康弘, 田中秀樹, 大附辰夫 (早大)
- (8) RTレベルのHDL記述を用いたプロセッサ設計の比較 赤星博輝, 安浦寛人 (九大)

◆第103回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 24件)

(主査: 磯田定宏, 幹事: 青山幹雄, 深澤良彰, 村松一夫)

日 時 平成7年3月9日(木) 9:00~17:45

10日(金) 9:00~17:45

会 場 上智大学 3号館 3-124教室

[東京都千代田区紀尾井町7-1. JR(中央線):四谷下車, 徒歩5分. Tel.(03)3238-4143]

議 題 特集:ドメイン分析/モデリング, ほか一般

3月9日(木)

[9:00~9:40] ●セッション1

- (1) ドメイン分析・モデリングの現状と課題(サーベイ) 伊藤 潔, 田村恭久(上智大), 杵嶋修三(山武ハネウエル)

[9:45~12:15] ●セッション2

- (2) 通信ボード組込みソフト開発プロセスの実際と障害の分析 端山 毅, 深海 悟(NTTデータ)

- (3) 経営情報システムの分析のためのドメインモデル 斉藤康彦, 本位田真一(IPA)

- (4) 製品特化CASE構築のためのドメイン分析 清水洋子, 小尾俊之, 三原幸博(東芝)

- (5) 生産計画システム構築のためのオブジェクト指向フレームワーク 堀 雅洋, 中村祐一(日本IBM)

- (6) 鉄鋼制御ドメインと制御ソフト開発支援 丸山昭男, 松平隆之(東芝), 土井克彦(川崎製鉄)

[13:15~15:45] ●セッション3

- (7) 建築物設計を事例としたドメイン特化概念モデルとその実装

佐藤俊孝, 奥園高基, 出口孝一, 廣田豊彦, 橋本正明, 片峯恵一(九工大)

- (8) インタフェースソフトウェア部品の再利用モデル 岩根典之(広島市立大), 木下哲男(沖電気)

- (9) Domain Specific Software Process(DSSP)~レンタルドメインを例として~ 平井俊光, 田村恭久, 伊藤 潔(上智大)

- (10) A Domain-Oriented Specification Language "kusanagi" 疋田敏哉, 松本正雄(NEC)

- (11) オブジェクト指向を用いた業務分析についての一考察 中山裕子, 吉田裕之(富士通研)

[16:00~17:45] ●パネル討論

- (12) パネル討論:ソフトウェア/システム開発の中でのドメイン分析・モデリングの使い方

ドメイン分析・モデリングの研究の進め方

司会:伊藤 潔(上智大)

パネリスト:松本正雄(NEC), 阿草清滋(名大), 磯田定宏(豊橋技科大)

廣田豊彦(九工大), 吉田裕之(富士通研)

3月10日(金)

[9:00~11:55] ●セッション4

- (13) プログラム理解とその支援ツール設計におけるドメイン・モデリング

秋山義博(金沢工大)

- (14) 事務処理ソフトウェア開発における要求定義・仕様再利用技術

名取万里, 加賀谷聡, 松尾尚典(東芝)

- (15) Lo-fiプロトタイプを利用したBooch法分析と設計例

山口隆弘, 今井 聡, 山下孝一(アドバンテスト研究所), 布川博士(宮城教育大)

- (16) 要求仕様作成会議の発話履歴を利用した仕様記述法の適用・評価

三浦信幸(東工大), 海谷治彦(北陸先端大), 佐伯元司(東工大)

- (17) 抽象解釈にもとづく仕様の段階的具體化法

吉岡信和, 鈴木正人, 片山卓也(北陸先端大)

[13:00~15:20] ●セッション5

- (18) オブジェクト指向方法論OMTにおける動的モデルと機能モデルの整合性の検証

佐々木健(東工大), 片山卓也(北陸先端大/東工大)

- (19) ライフサイクル図を用いたオブジェクトの協調的な振舞いの設計

牧野憲義, 酒井博敬(中央大)

- (20) オブジェクト指向分析における状態遷移図分割アルゴリズムの提案

北野拓哉, 山本晋一郎, 阿草清滋(名大)

- (21) オブジェクト準等価関係に基づいたクラス階層構造の再構成

黄 錫炯, 辻野嘉宏, 都倉信樹(阪大)

[15:25~17:45] ●セッション6

- (22) オブジェクト指向開発におけるドキュメント量の問題と解決 入内島裕子, 吉田和樹, 山城明宏, 佐藤 実 (東芝)
(23) 属性文法に基づくテストプログラム生成器の設計と実装 太田行紀, 脇田 建, 佐々政孝 (東工大)
(24) レビュー用帳票作成支援機能について 山本隆広, 上野和彦, 黒木宏明 (NTT)
(25) 管理主体の特性に応じた粒度で格納するリポジトリの構築法について 佐藤友康, 森保建治 (NTT)

◆第21回 プログラミングー言語・基礎・実践一研究会

(発表件数(1月9日現在):8件)

(主査:萩谷昌己, 幹事:大堀 淳, 柴山悦哉, 松岡 聡)

日 時 平成7年3月9日(木) 10:00~17:00

10日(金) 10:00~17:00

会 場 東京工業大学 大岡山西2号館 W242 講義室

[東京都目黒区大岡山2-12-1. 東急大井町線または目蒲線:大岡山下車, 徒歩約5分. Tel.(03)3726-1111]

議 題 特集:並列分散処理

- (1) 線形再帰プログラムからの再帰除去法 二村良彦, 大谷啓記 (早大)
(2) P区間表とそのプログラミング教育における効果
二村良彦, 白井千恵子 (早大), 劉 咏梅 (武漢大), 二村夏彦 (Syracuse 大), 笈 捷彦 (早大)
(3) スケーラブル・プログラミングシステム:CC++~処理系と使用経験~ 藤田昭平 (東工大)
(4) 並列離散事象シミュレーション言語「もえぎ」の構想 大澤範高, 弓場敏嗣 (電通大)
(5) Black Boardを用いたリフレクティブGHCの実装 青木良憲, 田中二郎 (筑波大)
(6) コネクションマシン上の並列論理型言語処理系 古川英司, 田中二郎 (筑波大)
(7) 自己反映的な値呼びλ計算の操作的意味論 山岡順一, 渡部卓雄 (北陸先端大)
(8) 均一な木の上での自己安定リーダ選出プログラムの形式的導出 網崎孝志 (島根大), 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)

*今回の研究会は電子情報通信学会(コンピュータシオン研究会, ソフトウェアサイエンス研究会)との共催で開催されます. 上記
会告は1月9日現在の情報処理学会への申込みによるもので, 前記期日以降の電子情報通信学会への申込み分を含めた最終的なプ
ログラムは電子情報通信学会誌2月号に掲載されますのでご了承ください.

◆第106回 自然言語処理研究会

(発表件数:15件)

(主査:新田義彦, 幹事:丹羽芳樹, 久光 徹, 丸山 宏)

日 時 平成7年3月9日(木) 13:00~16:30

10日(金) 9:45~16:00

会 場 松下電器 九州飯塚研究所 2F プレゼンテーションホール

[飯塚市川津693-47(九州工業大学情報工学部隣). 博多駅よりJR(筑豊本線快速):新飯塚(40分)下車, タクシー
15分. または博多駅よりバス(田川後藤寺行):飯塚バスセンター(60分)下車, バス(西相田行:本数少なし):
緑が丘ハイツ(20分)下車, 徒歩1分. Tel.(0948)21-2603(重永)]

議 題

3月9日(木)

[13:00~14:30]

- (1) 語長と同時出現頻度を利用したキーワード抽出法の検討 原 正巳, 中島浩之, 木谷 強 (NTT データ)
(2) 分類体系相互の関係を利用したテキストの自動分類 山本和英, 増山 繁 (豊橋技科大), 内藤昭三 (NTT)
(3) テキスト分類のためのカテゴリ割り付け戦略 西野文人 (富士通研)

[15:00~16:30]

- (4) 概念検索機能を備えた自然言語医療情報システムの試作
西村靖司 (福岡工短大), 白石正人 (福岡教育大), 小田誠雄 (福岡工短大), 横田将生 (福岡工大)
(5) オンラインマニュアル概要文を利用した異機種間の類似コマンド検索方法 安達久博, 下山豪彦 (宇都宮大)
(6) ビジネス文書作成問題における誤り抽出方法 重永信一, 安藤 智, 上田弓子, 澤辺一秀 (松下電器)

3月10日(金)

[9:45~11:45]

- (7) 触覚概念学習システム作成のための基礎的研究 小田誠雄 (福岡工短大), 川端晋一郎, 横田将生 (福岡工大)
(8) 不完全文章理解処理としての音声理解について
横田将生 (福岡工大), 小田まり子 (久留米工大), 小田誠雄 (福岡工短大)
(9) 意味共起関係を用いた手話認識方式 竹内 勝, 櫻井彰人 (日立)

- (10) 心像意味論に基づくマルチメディアコミュニケーション理論の提案
横田将生 (福岡工大)
[13 : 15 ~ 16 : 00]
- (11) 多元的類似度計算に基づく文脈を考慮したボトムアップ構文解析法
側嶋康博 (ATR)
- (12) 音声言語処理のための構文解析ツールキット
田代敏久, 森元 逞 (ATR)
- (13) 法律条文の標準構造 (2) ~ 標準構造を用いた法知識の意味処理~
川添一郎 (阪大), 牧 隆史 (リコー), 田中規久雄 (阪大)
- (14) 文表層情報に基づくアブストラクト評価
市岡裕嗣, 佐川雄二, 山村 毅, 大西 昇 (名大), 杉江 昇 (名城大)
- (15) 表層表現に基づく文章構造解析を利用した論文改訂支援システムの試作と評価
甲斐郷子, 中村順一 (九工大), 吉田 将 (九州芸術工科大)

◆第 55 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (発表件数: 15 件)
(主査:野寺 隆, 幹事:長嶋雲兵, 寒川 光, 佐藤三久)

第 2 回「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する
北海道ワークショップ (HOKKE-2)
— 計算機アーキテクチャ研究会と連続開催 —

日 時 平成 7 年 3 月 9 日 (木) 9 : 00 ~ 18 : 00

会 場 札幌ソフトウェア専門学校

[札幌市中央区北 5 条西 13 丁目. JR : 札幌下車, 駅前五番館 SEIBU デパート南側より市営バス (51, 52, 58 番 : 北 5 条西 13 丁目下車, 徒歩 1 分. または地下鉄 (東西線) : 西 11 丁目下車, 徒歩 13 分. Tel.(011)231-7085]

議 題

[9 : 00 ~ 10 : 30] ●プログラミング言語と HPC

- (1) 数値シミュレーション言語の並列処理
川合隆光, 島田俊夫 (名大)
- (2) AP1000+ における Split-C の実行性能の評価
小林健一, 清水俊幸, 林 憲一, 白木長武, 小柳洋一, 石畑宏明 (富士通研)
平山 弘 (神奈川工科大)
- (3) C++ 言語による常微分方程式の解法
平山 弘 (神奈川工科大)

[10 : 45 ~ 12 : 15] ●並列分散アプリケーションと性能評価

- (4) 分散共有メモリアーバの大規模データ処理への適用と評価
斎藤彰一, 中村素典, 大久保英嗣, 大野 豊 (立命館大)
河野洋一, 西松 研, 福盛秀雄, 村岡洋一 (早大)
- (5) 輸送計画を用いた FEM 並列要素分割法
河野洋一, 西松 研, 福盛秀雄, 村岡洋一 (早大)
- (6) 非経験的分子軌道法プログラム (AMOSS) の並列化
平原幸男, 高田俊和, 望月祐志, 土谷正人, 中田 宏 (NEC)
- [13 : 15 ~ 15 : 15] ●基本アルゴリズムと性能評価
- (7) 超並列計算機 CP-PACS における NAS-PB の仮想評価

- 板倉憲一, 服部正樹, 朴 泰祐, 中村 宏, 中澤喜三郎 (筑波大)
- (8) 各社 RISC ワークステーション上の NUMPAC ・行列乗算の性能
山本茂義 (中京大), 小畑繁樹 (愛知技術短大)
村上明德 (三菱化学), 片桐秀樹 (電総研), 秦野やす世 (中京大)
- (9) 改良自己組織化ネットワークによる非線形スペクトル推定
宮永喜一, 柄内香次 (北大)
- (10) Efficient Initial Approximation Methods for Division and Square Root Using a Multiply-Add Unit
伊藤雅之 (京大), 高木直史 (名大), 矢島脩三 (京大)

[15 : 30 ~ 18 : 00] ●通信ライブラリと性能評価

- (11) ネットワーク数値情報ライブラリ Ninf の通信方法の予備的考察
飯岡美恵, 新居由佳子, 長嶋雲兵 (お茶の水女子大)
関口智嗣, 佐藤三久 (電総研), 松岡 聡 (東大), 細矢治夫 (お茶の水女子大)
- (12) 大規模ワークステーション・クラスタにおける PVM の性能評価
弘中哲夫 (広島市立大)
- (13) MPI/DE-並列計算機 Cenju-3 上の MPI ライブラリ - の性能評価
小西弘一 (NEC), 神館淳 (ソフテック), 加納 健, C.Howson (NEC)
- (14) 並列コンピュータ Cenju-3 用 Mach における NORMA IPC の実現
菅原智義, C.Howson, 高野陽介, 小長谷明彦 (NEC)
- (15) 仮想共有メモリの性能評価
吉井 卓, 岩下茂信, 村上和彰 (九大)

◆第103回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 島田俊夫, 幹事: 木村康則, 関口智嗣, 中島 浩)

第2回「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する

北海道ワークショップ (HOKKE-2)

—ハイパフォーマンスコンピューティング研究会と連続開催—

日 時 平成7年3月10日(金) 9:00~15:45
会 場 札幌ソフトウェア専門学校(所在地は前記参照)
議 題

[9:00~11:00] ●最適化手法と性能評価

- (1) 階層並列実行ジョブ間スケジューリング手法 合田憲人, 岡本雅巳, 笠原博徳, 成田誠之助(早大)
- (2) マルチスレッドアーキテクチャにおける単体プログラムの最適化手法 三浦敏孝, 石井吉彦, 村岡洋一(早大)
- (3) マルチバンクメモリ上における擬似ベクトルプロセッサ PVP-SW の性能評価 廣野 哲, 上野幸樹, 中村 宏, 朴 泰祐, 中澤喜三郎(筑波大)
- (4) 並列システムのスケーラビリティによる評価 関口智嗣, 佐藤三久(電総研)

[11:15~12:45] ●結合網と性能評価

- (5) 並列コンピュータのための高速再配置可能結合網 Issam A. Hamid(東北芸工大)
- (6) 並列計算機結合網の性能評価 中村真章(NEC)
- (7) 分散独立型入出力システムのための結合網の構成と評価 大西一正, 北村 徹, 大上靖弘, 清水雅久(RWCP)

[13:45~15:45] ●アルゴリズムとアーキテクチャ

- (8) Tflops 重力多体問題専用計算機 GRAPE-4 の開発 戎崎俊一, 泰地真弘人, 牧野淳一郎, 杉本大一郎(東大)
- (9) ラジオシティ法によるCGの専用計算機化について 成見 哲, 牧野淳一郎, 戎崎俊一(東大), 大村皓一(イメージ情報科学研究所)
- (10) 密行列専用計算機の開発 清木 泰, 福重俊幸, 泰地真弘人, 牧野淳一郎, 小河正基, 戎崎俊一(東大)
- (11) 主記憶共有型ベクトル並列スーパーコンピュータ向けLU分解アルゴリズムの高速化手法 田中輝雄, 玉置由子, 伊藤昌尚, 榊原忠幸, 山本有作(日立)

◆第20回 情報メディア研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 田中 謙, 幹事: 森本英之, 牧村信之, 平山智史)

日 時 平成7年3月10日(金) 10:00~17:30
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)
議 題 小特集: 情報メディアアーキテクチャ

[10:00~12:30]

- (1) マルチメディアによる電子博物館へのアプローチ 洪 政国(日本IBM)
- (2) 美術館探訪システム: ArtFinder 尾崎圭司, 矢野米雄(徳島大)
- (3) 情報探索および知識発見のための意味的連想検索方式 清木 康, 北川高嗣, 宮原隆行(筑波大)

[13:50~17:30]

- (4) クラスタ表現による高次元科学データへの高効率アクセス 長澤幹夫(UNCL)
- (5) SocialwareLand: WWW上の視聴率・モニター調査機能の実現 増井誠生, 園部正幸(富士通研)
- (6) Socialware: "架想"世界とデータ世界を現実社会で取り結ぶ情報メディアアーキテクチャの提案 神田陽治, 園部正幸(富士通研)
- (7) エージェントによる情報フィルタリング 朝倉敬喜, 喜田弘司, 垂水浩幸, 宮下敏昭(NEC)

◆第102回 データベースシステム研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 増永良文, 幹事: 石川 博, 井上 潮, 吉川正俊)

日 時 平成7年3月14日(火) 10:00~17:40
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)
議 題

[10:00~12:00]

- (1) 電子メールのオブジェクト指向データベースによる管理方法の提案 山川利治, 岩沢京子, 萩原洋一, 中森真理雄(農工大)
- (2) DOODへのデータ隠蔽とメタオブジェクトの導入 久米 出(東工大)

(3) 画像 DB アプリケーション開発言語の実装

松田宜之, 大津浩二, 金森吉成 (群馬大), 増永良文 (情報大), 脇山俊一郎 (仙台電波高専)

[13:00 ~ 17:40]

- (4) オブジェクトの動きをキーとした動画検索 吉光正典, 吉高淳夫, 平川正人, 市川忠男 (広島大)
- (5) 移動型データベースのビュー維持手法 仲秋 朗, 劉 渤江 (阪大), 塚本昌彦 (シャープ), 西尾章治郎 (阪大)
- (6) IS-A 関係と正規表現を用いた DOT 知識ベースシステムの設計および実装
清 一隆 (阪大), 塚本昌彦 (シャープ), 西尾章治郎 (阪大)
- (7) 版管理機能を持つデータベースシステムにおける視覚的問い合わせ言語 TVQE の実装と評価
井伊克益, 北川博之 (筑波大)
- (8) Design and Implementation of a Temporal Persistent Object Store POST/C++ 鈴木孝幸, 林恵 将, 北川博之 (筑波大)
- (9) 文法表現によるオブジェクト指向データモデル 佐藤秀樹 (日本電装), 伊藤暢浩, 林 達也 (名工大)
- (10) オブジェクト指向データモデルのメソッドに対する属性文法による形式化
佐藤秀樹 (日本電装), 伊藤暢浩, 林 達也 (名工大)

◆第44回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 浅野哲夫, 幹事: 加藤直樹, 鈴木 均, 徳山 豪)

日 時 平成7年3月17日(金) 10:00 ~ 16:00

会 場 日本アイ・ピー・エム 大和研究所 B館 1F B教室

[大和市内鶴間 1623-14. 小田急線または東急田園都市線: 中央林間下車, 徒歩約 10分. Tel.(0462)73-4957

*会場への入館手続きを簡単にできるように, 参加者はできるだけ事前に下記へご連絡ください。

(連絡先: 徳山 豪 Tel.(0462)73-4957 e-mail:ttoku@trl.ibm.co.jp)]

議 題

[10:00 ~ 12:00]

- (1) ハイパーキューブ上の短距離置換のルーティング 玉木久夫 (日本 IBM)
- (2) 葉数最適整列法 LOAS とその実現法 二村良彦 (早大), 二村夏彦 (Syracuse 大), 遠藤貢一, 平井利治 (早大)
- (3) 整列法評価のためのランダム順列生成法 二村良彦, 青木健一, 大谷啓記, 白井知恵子 (早大)
- (4) 書換え系論理を用いた講座配属アルゴリズムの完備性の解析 能登正人, 栗原正仁, 大内 東 (北大)
- [13:00 ~ 16:00]
- (5) 二次元配列間の距離について 阿久津達也 (群馬大)
- (6) 移動視点からの多角形可視部分計算 小澤孝夫, 内田直樹 (龍谷大)
- (7) 誤差耐性のある凸包構成問題に対する並列解法 陳 慰, 和田幸一, 川口喜三男 (名工大)
- (8) 2つのグラフの共通 st 順序付けの NP 完全性 山口一章, 原田俊彦 (阪大)
- (9) On the Approximation Algorithms for Maximum Independent Set of Cubic Graphs without Triangles
吉原貴仁 (東工大), Magnus M. Halldorsson (北陸先端大)
- (10) Facility Dispersion and Remote Subgraphs
Magnus M. Halldorsson, Barun Chandra (北陸先端大)

◆第53回 情報システム研究会

(発表件数: 14件)

(主査: 山本毅雄, 幹事: 初瀬川茂, 中嶋開多, 神田 茂)

日 時 平成7年3月22日(水) 10:10 ~ 17:00

会 場 日本ユニシス豊洲本社 5F 513号室

[東京都江東区豊洲 1-1-1. 地下鉄(有楽町線): 豊洲下車 (1番出口), 徒歩 10分. Tel.(03)5546-6128 (玉上), 6125 (平野)]

議 題 第5回 情報システム若手の会

今年も年度最後の研究会を「若手の会」として開催します。もちろん参加される方の年齢に制限は一切ありません。特に情報システムの開発・研究・教育などに携わる大学院生, 若手社員, 若手教育者の方々の多数のご参加をお待ちいたしております。なお, 研究会終了後には, ささやかな懇親会を開催いたしますので, 発表者をはじめ参加者相互の親睦や意見交換などに是非ご利用ください。

[10:10 ~ 12:30]

- (1) CSCW を用いた文章校正システムの開発 北原 明, 千種康民 (東京工科大)
- (2) エージェントを用いた CAI の効率化 山崎健弘, 千種康民 (東京工科大)
- (3) クライアント・サーバーシステムの性能設計 大前義次, 鄒 林, 堀 義人, 筒井麻喜 (神奈川工科大)

- (4) データ処理結果による通信制御のための1方式 三宅 潤, 越田一郎, 伊吹公夫 (東京工科大)
- (5) 分散データ処理の新しいプログラミングパラダイムについて 住吉政英, 石井 勉, 伊吹公夫 (東京工科大)
- (6) NEXTSTEPを用いたCASEツールの試作 酒井健作, 山本毅雄 (情報大)
- [13:30~16:50]
- (7) 招待講演 (13:30~14:20): 第三世代のコンピュータ技術者 玉置彰宏 (日興システムセンター)
- (8) 柔軟な情報システムを実現するインフラの満たすべき要件~ホスト・LAN, LAN間接続をめぐって~ 藤本一男 (メモレックス・テレックス)
- (9) MS-ACCESSによる開発事例 ト部 央 (日鉄日立システムエンジニアリング)
- (10) 大型計算機システム(MVS)のアウトソーシング化に対する一考察 河合英俊 (三井信託銀行), 上月敬一 (オリックス・システム)
- (11) オブジェクト指向分析の共同作業支援について 松澤由香里, 山城明宏 (東芝)
- (12) 日野市役所におけるエンドユーザーによるパソコンシステムの現状と課題 松谷泰行 (多摩大), 大谷二郎 (日野市役所)
- (13) 階層分析法(AHP)による自治体の政策形成に関する研究 石田光広 (稲城市役所), 松谷泰行 (多摩大)
- (14) 特別報告: 情報システム学をめぐる海外の動向~15th ICIS (International Conference on Information Systems)参加報告~ 中嶋聞多 (文教大)

*研究会終了後 (17:15~19:00), 懇親会を予定しております。

◆第93回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 松山隆司, 幹事: 井宮 淳, 谷口倫一郎, 村瀬 洋)

日時 平成7年3月23日(木) 10:50~17:00

会場 東京農工大学 合同棟5F 会議室

[東京都小金井市中町2-24-16. JR(中央線): 東小金井(南口)下車, 徒歩10分, またはタクシー5分.

Tel.(0423)88-7150 (金子俊一)]

議 題

[10:50~12:00]

- (1) 固有空間法を利用した陰影からの曲面の形状復元 岡谷貴之, 出口光一郎 (東大)
- (2) 多様体間の距離とその応用 井宮 淳 (千葉大)
- [13:30~17:00]
- (3) CVCV-WG 特別報告: コンピュータビジョンにおける技術評論と将来展望(II) 杉本晃宏 (ATR)
~ビジョンにおける不変量とその応用~
- (4) 相互反射は凹形状復元の有効な手掛かりである 楊 駿, 大西 昇 (名大), 杉江 昇 (名城大)
- (5) 階層的要約による図形の掃納学習 村瀬一朗, 金子俊一, 本多庸悟 (農工大)
- (6) Simulated Annealingによるステレオ対応付けにおける隠れ部分の評価について 嶋崎真一, 金子俊一, 本多庸悟 (農工大)
- (7) 平面投影ステレオ法を用いた道路抽出 小野口一則, 武田信之, 渡辺 睦 (東芝)

◆第80回 記号処理研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 小川貴英, 幹事: 天海良治, 寺田 実, 湯浦克彦)

日時 平成7年3月24日(金) 10:30~17:30

会場 NTT 武蔵野研究センター 1-204B 会議室

[東京都武蔵野市緑町3-9-11. JR(中央線): 三鷹(北口)下車, 関東バス(1番乗場・北裏行): 武蔵野市役所下車, 徒歩5分. Tel.(0422)59-4411]

議 題

[10:30~11:50]

- (1) 属性文法に対するデバッガ 大久保琢也, 佐々木晃, 脇田 建, 佐々政孝 (東工大)
- (2) Cとfuture関数 柳瀬龍郎 (福井大)
- [13:00~17:30]
- (3) PHLの新コンパイラ 寺島元章, 山本洋司, 古川敦司, 渡辺美苗 (電通大)
- (4) 論理型プログラムにおける同値関係の分析 小谷善行 (農工大)
- (5) 大規模分散制約充足問題における協調と自己組織化 佐々木崇郎, 中西正和 (慶大)

- (6) ISLISP (Lisp 言語の ISO 標準案) とその動向
伊藤貴康 (東北大), 湯浅太一 (豊橋技科大)
橋本ユキ子 (NEC), 長坂 篤 (沖電気), 梅村恭司, 岸田克己 (NTT)
- (7) 特別講演: ある記号処理研究プロジェクトの 20 年~プロログからエビログへ~ (予稿なし) 淵 一博 (東大)

◆第 68 回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 (発表件数: 5 件)
(主査: 徳田英幸, 幹事: 梅村恭司, 清木 康, 福田 晃)

日 時 平成 7 年 3 月 24 日 (金) 13:00 ~ 17:10 * 開始時間が変更されていますのでご注意ください。
会 場 情報処理学会 (芝浦) (所在地は前記参照)
議 題

- (1) モジュール構成のマルチプロセッサ・スケジューリング・シミュレータ
藤崎直哉 (奈良先端大/富士通), 福田 晃 (奈良先端大)
- (2) マルチバイトコードを基本とするソフトウェアアーキテクチャと OS/omicon
並木美太郎, 早川栄一, 高橋延匡 (農工大)
梅村恭司 (NTT)
- (3) 文字フォントをベースとした文字処理の提案
- (4) Codeset Independent Full Multilingual Operating System: Principle, Model and Optimal Architecture
片岡 裕, 田中忠雄, 片岡朋子, 上園一知, 山西正一郎, 小原啓義 (早大)
- (5) 日本語を基盤とする情報システムの設計開発
岡本 東 (東北大)

◆第 8 回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会 (発表件数: 10 件予定)
(主査: 富永英義, 幹事: 二宮佑一, 村上仁己, 安田 浩)

日 時 平成 7 年 3 月 31 日 (金) 10:00 ~ 17:00
会 場 機械振興会館 B3F 研修 1 号室
議 題 MPEG2 用 LSI 開発状況に関する 10 件程度の発表を予定しております。奮ってご参加ください。プログラム詳細は 3 月号にてお知らせします。

◆グラフィクスと CAD 研究会

前号 (1 月号) 掲載の第 73 回研究会会告の 7 件目に以下の発表が追加となります。なお、開催時間が、13:30 ~ 18:00 に変更になりますので、あわせてお知らせいたします。

・追加発表

- (7) CSG を用いた仮想彫刻
水野慎士, 岡田 稔, 横井茂樹, 鳥脇純一郎 (名大)

*** 研究発表会 論文・参加募集 ***

◆情報メディア研究会

第 21 回研究会の発表論文を下記の通り募集いたします。奮ってご応募ください。

日 時 平成 7 年 5 月 12 日 (金) 9:30 ~ 17:00
会 場 慶應義塾大学 (日吉)
議 題 特集: 情報スーパーハイウェイとマルチメディア
インターネット, WWW, ビデオオンデマンドなどについて技術的な面と社会的な面双方から広範な議論を行います。

発表申込締切 平成 7 年 3 月 6 日 (月)

発表申込 平山智史 (ソニー IPC) Tel.(03)3458-5605 Fax.(03)3458-5611 e-mail:hirayama@ipc.sony.co.jp
/照会先 できるだけ電子メール, Fax にてお願いします。

▶情報システム研究会

▶コンピュータと教育研究会

上記 2 研究会の合同研究発表会を下記の通り開催いたしますので、奮ってご応募ください。

日 程 平成 7 年 5 月 16 日 (火)

会 場 情報処理学会 会議室 (予定)

議 題 特集：情報システム教育

情報システムの変革に対応できる人材の発掘，育成，教育体系，企業内教育，学校教育など。

発表申込締切 平成7年3月6日(月)

発表申込方法 研究会発表申込書にタイトル，氏名所属，概要(75字以内)，連絡先，原稿依頼送付先を記入のうえ，下記宛ご送付ください。

照 会 先 魚住 董 (沼津高専電子制御工学科 〒410 沼津市大岡 3600) Tel.(0559)26-5839 Fax.(0559)26-5830

◆コンピュータビジョン研究会

日 程 平成7年5月18日(木)

会 場 中京大学

発表申込締切 平成7年2月25日(土)

発表申込 村瀬 洋 (NTT 基礎研究所) Tel.(0462)40-3579 Fax.(0462)40-4714 e-mail: murase@apollo3.ntt.

／照会先 できるだけ電子メールでの申込をお願いします。電子メールを受けましたら返信しますので，もし返信のない場合には連絡ください。

◆グラフィクスとCAD研究会

日 程 平成7年5月22日(月)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

議 題 特集：レンダリングおよび一般

発表申込締切 平成7年3月7日(火)(締切厳守)

照 会 先 土井章男 (日本 IBM) Tel.(0462)73-4929 Fax.(0462)73-7428 e-mail:doi@trl.ibm.co.jp

◆人文科学とコンピュータ研究会

日 程 平成7年5月25日(木)

会 場 総合研究大学院大学(神奈川県葉山町)

発表申込締切 平成7年3月1日(水) *申込先等の詳細は前号(1月号)の本欄をご覧ください。

◆自然言語処理研究会

◆音声言語情報処理研究会

5月の研究会を連続開催で行ないます。共通のテーマは「話し言葉の解析」と「コーパスに基づく解析・言語モデル」です。(ただしこれらに該当しない論文も受け取ります。)

日 程 平成7年5月25日(木)：音声言語情報処理研究会(SLP)

26日(金)：自然言語処理研究会(NL)

会 場 国立国語研究所(東京都)

発表申込締切 平成7年3月6日(月)

発表申込方法 できるだけ電子メールでのお申込みをお願いいたします。発表題目，発表者名，略称所属，概要(50字程度)，発表申込者連絡先(住所，氏名，Tel.，Fax.，e-mail)を明記していれば形式は自由です。ご希望があればフォーマットをお送りいたします。(＊原稿1件当り8頁以内)。

発表申込 NL：丹羽芳樹(日立・基礎研究所) Tel.(0492)96-6111(ext.241) Fax.(0492)96-6006

／照会先 e-mail:niwa2@harl.hitachi.co.jp

SLP：小林 豊(京都工繊大・工学部) Tel.(075)724-7473 Fax.(075)724-7400

e-mail:koba@dj.kit.ac.jp

◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成7年5月31日(水) *オブジェクト指向'95シンポジウムと連続開催です。

会 場 工学院大学

議 題 特集：オブジェクト指向，および一般

発表申込締切 平成7年3月3日(金)

発表申込先 青山幹雄(富士通) Tel.(045)211-7813 Fax.(045)211-7807 e-mail:mikio@exs.ts.fujitsu.co.jp

*特に申込みの指定がない研究会の発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書（本欄末添付）を事務局研究会担当までお送りください（Fax., e-mail可）。（e-mailでお申込みの場合は、研究会発表申込書の様式で必要事項をご記入のうえお送りください。） Fax.(03)5484-3534 e-mail:ito@ipsj.or.jp

*** 「研究グループ」について ***

確立された分野を対象とした研究会とは別に、ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか、新しい研究分野となり得る萌芽的研究など、より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために、研究グループ制度があります。

この制度は、会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができます。設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問合せください。

雑 報

○「TI DSPソリューション・チャレンジ95」概要

全世界の大学生を対象にDSPのデザイン・コンテストを実施します。詳細は下記に問い合わせてください。

募集期間 平成7年1月1日～6月30日

照会先 〒108 東京都港区芝浦 4-13-23 MS 芝浦ビル 日本テキサス・インスツルメンツ（株）広報本部（小畑）
Tel.(03)3769-8795 Fax.(03)3457-7344

○平成7年度 技術士試験（国家試験）—技術士法に基づく技術士第二次試験—

受験資格、試験日程・場所等の詳細は下記に問い合わせてください。

試験科目 19 技術部門の内、情報工学部門は（1）必須科目 情報工学一般（2）選択科目 情報システム、情報処理及び知識処理、情報応用、電子計算機システム（1科目選択）です。

受付期間 平成7年3月27日（月）～4月7日（金）予定（土曜日・日曜日を除く）

照会先 〒105 東京都港区虎ノ門 4-1-20 田中山ビル 8F （社）日本技術士会 技術士試験センター Tel.(03)3459-1333（代）

平成7年度研究会のお知らせ

平成7年度は、下記のとおり24研究会(統合1,新設1)で実施します。

研究会名 略称(領域略称)	○ 主査,幹事	取り扱う研究分野の例
自然言語処理 NL (FR)	○ 新田義彦 丹羽芳樹 久光 徹 丸山 宏	言語理論, 言語行動, 言語資料・統計, 言語データベース, 辞書, 形態素解析, 統語解析, 意味解析, 文脈解析, 対話, 談話理解, 音声言語処理, 知識表現, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
データベースシステム DBS (CS)	○ 田中克己 石川 博 井上 潮 吉川正俊	データベース管理システム, 質問処理, トランザクション管理, データベース言語, オブジェクト指向DB, マルチメディアDB, オフィスDB, エン지니어リングDB, 演繹DB, データベース設計・活用, 情報資源管理, 情報検索システム, DBアプリケーション, 開発環境, DB高度応用, データベース発掘, インターネットデータベース
人工知能 AI (FR)	○ 中島秀之 加藤 浩 沼尾正行 橋田浩一	知識表現, 推論・探索, 学習, 認知モデル, ニューラルネット, 知識ベース, エキスパートシステム, ファジィ推論, パターン・自然言語の理解, 知的インタフェース, 分散・協調AI, AI7-キクチャ, その他の知能メカニズム関連研究と応用システム
ソフトウェア工学 SE (CS)	○ 磯田定宏 青山幹雄 深澤良彰 松村一夫	要求分析, 設計方法論, 仕様記述, プログラミング方法論, 検査・検証, ツール, 開発環境, 再利用, プログラム合成, 開発管理, メトリックス, 人的要因
計算機アーキテクチャ ARC (CS)	○ 島田俊夫 木村康則 関口智嗣 中島 浩	1. 計算機システム・アーキテクチャ全般 2. ソフトウェア・システム(OS, コパイラ, ツール)とのインタフェース 3. 並列処理アーキテクチャ 4. VLSIアーキテクチャ
システムソフトウェアと オペレーティング・システム OS (CS)	○ 徳田英幸 梅村恭司 清木 康 福田 晃	分散・並列・超並列OS, マルチメディアOS, 分散マルチメディア, 計算システムの性能評価, データベースOS, コンパイラ, ネットワークシステム, システム管理, 可搬計算システム
コンピュータビジョン CV (FR)	○ 松山隆司 久野義徳 谷口倫一郎 村瀬 洋	コンピュータによる視覚情報処理: 画像処理, 特徴抽出, 画像理解, 物体認識, 3次元復元, ステレオ視, 運動解析, 色彩解析, ロボットビジョン
設計自動化 DA (CS)	○ 中村行宏 小野寺秀俊 長 光雄 松田庸雄	集積回路から装置システムまで一貫した設計自動化技術: 具体的には, エレクトロニクス用DA/CAD, HDL, 論理合成, レイアウト合成, 論理検証, テストなどを扱う。
マルチメディア通信と 分散処理 DPS (IE)	○ 白鳥則郎 柴田義孝 菅野政孝 鈴木健二	マルチメディアによる高度情報通信ネットワークと分散処理システム (高速通信, 分散コンピューティング, マルチメディア情報通信, 知的通信, プロトコル, 分散協調など)
ヒューマンインタフェース HI (IE)	○ 竹林洋一 来住伸子 浜田 洋	1. 計算機システムのインタフェース 2. マルチメディアインタフェース 3. コミュニケーションとインタフェース 4. 協調作業のインタフェース 5. 文書処理のインタフェース 6. 人工現実感 7. 認知情報処理
グラフィクスとCAD CG (IE)	○ 大野義夫 斉藤 剛 福井一夫 間瀬健二	CGのソフトウェア・アルゴリズム・ハードウェア, ユーザ・インタフェース, 形状モデリング, アニメとアート, 可視化, 仮想現実感, CAD/CAM, 計算幾何学, 図面処理
ハイパフォーマンスコンピューティング HPC (CS)	○ 野寺 隆 佐藤三久 寒川 光 長嶋雲兵	計算科学(数値計算) / シミュレーションの理論と実際(モデル化, アルゴリズム, 品質保証), 高速・高性能アーキテクチャ・システム(超並列WS). 利用技術/性能評価と提言, 計算と計算機を結ぶ技術(可視化, 言語, データ配置, 最適化, デバッグツールなど)
情報システム IS (IE)	○ 山本毅雄 内木哲也 神田 茂 中嶋聞多	1. 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用 2. 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際 3. 情報システムと人間・組織・社会との相互関連

研究会名 略称 (領域略称)	○ 主査,幹事	取り扱う研究分野の例
* プログラミング PRO (CS)	○ 萩谷昌己 小川貴英 柴山悦哉 多田好克	1. プログラミング言語の基本概念, 設計原理, 実装技術 2. プログラミング方法論, プログラミング環境 3. その他, プログラミングに関する面白い話題
情報学基礎 FI (IE)	○ 石塚英弘 田村貴代子 千村浩靖 中川 優	1. 情報の表現, 識別, 分類, 評価, 検索, 流通, 管理の手法 2. 学習と発見による大量情報の知識化, 遺伝子情報 3. 大量のマルチメディア情報, 文字情報の処理
コンピュータと教育 CE (FR)	○ 大岩 元 石田厚子 神津陽一 三好和憲	1. 学校および企業における情報分野の専門技術者・研究者の育成, ならびにリテラシーとしての一般的情報処理教育のためのカリキュラム, 具体的指導方法, 実践例等 2. 知的CAIを含む教育における計算機応用
アルゴリズム AL (CS)	○ 浅野哲夫 加藤直樹 鈴木 均 徳山 豪	1. グラフ, ネットワーク等に関する離散アルゴリズム 2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号, 符号等の数論的アルゴリズム 4. 確率アルゴリズムと近似アルゴリズム 5. 分散, 並列アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム 6. データ構造 7. 計算複雑度理論 8. アルゴリズムの応用と実用
人文科学とコンピュータ CH (FR)	○ 八村広三郎 斉藤 雅 高橋靖子 山田奨治	人文科学分野へのコンピュータ応用をめざした 1. ハード・ソフトの開発・事例 2. 研究手法 (処理技術) の開発・事例 3. 学際的研究や理論的研究
情報メディア IM (IE)	○ 田中 譲 平山智史 牧村信之 森本英之	1. 情報の生態系 2. メディアの電子化, 映像化, メディア機械 (仮想現実など) 3. メディアの創作, 編集, 表現, 伝達, 管理, 理解のメカニズムと環境
音楽情報科学 MUS (FR)	○ 鈴木 孝 志村 哲 中村滋延 平賀 譲	計算機技術と音楽双方に関連した領域: 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 電子楽器, 音楽信号処理, AIと音楽, 音楽の認知・知覚・感性情報, 音楽情報処理システム, 音楽学や音楽芸術と計算機技術
オーディオビジュアル 複合情報処理 AVM (IE)	○ 安田 浩 一之瀬進 児玉 明 村上仁己	・ビデオ・イメージング・テレコンファレンス・テレレクチャリング 多種多様なデジタル情報を用いた上記サービスアーキテクチャの構築およびそのソフトウェアによる環境整備を目指す
グループウェア GW (IE)	○ 松下 温 星 徹 宗森 純 山上俊彦	1. 協調基礎 (組織, 認知, 社会心理, 行動科学) 2. グループ応用 (意思決定, 共著/協同設計, 発想, 教育) 3. グループワークインフラ (仮想環境, グループ通信) 4. 分散オフィス 5. マルチUI 6. 事例研究
音声言語情報処理 SLP (FR)	○ 中川聖一 岡田美智男 小林 豊 新田恒雄	1. 音声言語情報処理 (音声の分析・加工・合成・認識・理解, 話し言葉の解析・解釈・生成) 2. 音声言語処理システム (音声対話, 音声翻訳) 3. 音声インタフェースと音声応用
** 数理モデル化と問題解決 MPS (CS)	○ 中森真理雄 白石洋一 伊達 博	1. 理工学上の問題の数理モデル化全般と解法 2. 数理計画法 3. グラフ理論, ネットワークフロー理論 4. 各種モデル化と双対性モデル間の準同型 5. 逆問題 6. 数理モデルの教育 7. 以上の諸モデルの応用

* : 統合 (「記号処理」と「プログラミング-言語・基礎・実践-」の2研究会の統合)

** : 新設

[領域略称] CS : コンピュータサイエンス, IE : 情報環境, FR : フロンティア

- ・年間を通して参加される場合は登録をお願いします。登録費は研究会ごとに毎年度見直しの上, 決定します。
- ・学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして, 「研究会準登録者」制度を設けております。詳細等につきましては, 事務局研究会担当者までお問合せください。
- ・登録されていない会員は研究発表会当日資料代をいただきます。

平成7年度研究発表会開催予定

平成7年度から各研究会の多様性を考慮し、研究発表会の開催回数が弾力化されました。研究会活動の充実、活性化の目的から研究発表会の開催回数を絞り、シンポジウムや国際会議等の活動を計画する研究会もありますので、本欄シンポジウム等の行事予定も併せてご覧ください。

(研究会名 英略称 (領域略称))	(開催日・会場他)	平成7年1月20日現在
自然言語処理 NL (FR)	5月26日(金) 国語研 (*SLP研と連続) ※「話し言葉の解析」と「コーパスに基づく解析・言語モデル」 ◎ 7月20日(木)・21日(金) 福岡工大 9月14日(木) 日立基礎研 11月17日(金)・18日(土) 通信総研(関西) 1月19日(金) 日本IBM東京基礎研 3月7日(木)・8日(金) 徳島大	
データベースシステム DBS (CS)	5月25日(木) 筑波大 ※(小特集予定) ◎ 7月18日(火)～20日(木) 宮崎 ◎ 10月26日(木) ※医療情報システムとデータベース 1月25日(木) 関西大 ※(小特集予定) 3月中旬 学会会議室(芝浦)	
人工知能 AI (FR)	5月24日(水)・25日(木) 学会会議室(芝浦) ※第100回記念研究会 9月12日(火) 学会会議室(芝浦) 11月7日(火) NTT(厚木) ※人工社会とAI ◎ 1月 関西	
ソフトウェア工学 SE (CS)	5月31日(水) 工学院大 ※オブジェクト指向(シンポジウムと連続開催) 7月20日(木)・21日(金) 立山厚生年金休暇センター ◎ 9月8日(金) 機械振興会館 11月17日(金) 機械振興会館 1月18日(木)～19日(金) 三重大 3月7日(木)・8日(金) 機械振興会館	
計算機アーキテクチャ ARC (CS)	6月 東芝研究開発センター(川崎) 8月22日(火)～24日(木) 別府コンベンションセンター - SWoPP'95 - 10月 三菱電機情報システム研(鎌倉) ※プロセッサ・アーキテクチャ 12月 名大 ※アーキテクチャ設計支援 (*DA研と合同) 1月 松江 3月中旬 札幌ソフトウェア専門学校 - Hokke'96 - (*HPC研と合同)	
システムソフトウェアとオペレーティング・システム OS (CS)	6月 8月22日(火)～24日(木) 別府コンベンションセンター - SWoPP'95 - 11月30日(木)・12月1日(金) 学会会議室(芝浦) (*DPS研と合同)	
コンピュータビジョン CV (FR)	5月18日(木) 中京大 7月20日(木) 北大 9月21日(木) 電総研 11月16日(木) 香川大 1月18日(木) 奈良先端大 3月21日(木) 東京商船大	
設計自動化 DA (CS)	5月26日(金) 学会会議室(芝浦) ※シミュレーション 7月21日(金) 群馬 ※レイアウト ◎ 10月19日(木)・20日(金) 奈良先端大 ※設計とテスト ◎ 12月14日(木)・15日(金) 名大 ※アーキテクチャ設計支援 (*ARC研と合同) 2月9日(金) 広島	

(研究会名 英略称 (領域略称))

(開催日・会場他)

マルチメディア通信と分散処理 DPS (IE)	5月25日(木)・26日(金) 東北大 7月13日(木)・14日(金) 奈良先端大 9月8日(金) 学会会議室(芝浦) 11月30日(木)・12月1日(金) 学会会議室(芝浦) (*OS研と合同) 1月25日(木)・26日(金) 静岡大 (*GW研と合同) 3月7日(木)・8日(金) 学会会議室(芝浦)
ヒューマンインタフェース HI (IE)	5月17日(水) 津田塾大 7月20日(木) 学術情報センター 9月7日(木) 機械振興会館 ※福祉インタフェース 11月2日(木) 東芝関西研(神戸) 1月11日(木) 慶大(藤沢) ※Internetとパソコン通信のHI 2月29日(木)・3月1日(金) 地方 (*SLP研と合同)
グラフィクスとCAD CG (IE)	5月22日(月) 学会会議室(芝浦) 7月14日(金) 学会会議室(芝浦) 8月17日(木)・18日(金) ススキ荘(静岡) ※ソフトウェアリテラシー・リンク —夏の集中研究会— 11月9日(木) シャープ本社 ※デザインにおけるコンピュータ化 12月22日(金) 愛媛大 ※多次元情報のパターン認識とビジュアルリゼーション 2月23日(金) 学会会議室(芝浦)
ハイパフォーマンス コンピューティング HPC (CS)	6月1日(木) 日本IBM(箱崎) 8月22日(火)～24日(木) 別府コンベンションセンター—SWoPP'95— ◎10月25日(水) お茶の水女子大 12月14日(木) 慶大(三田) 3月中旬 札幌ソフトウェア専門学校—Hokke'96— (*ARC研と合同)
情報システム IS (IE)	5月16日(火) 学会会議室(芝浦) (*CE研と合同) 7月18日(火) 地方(新潟または名古屋) 10月17日(火) 学会会議室(芝浦) 1月16日(火) 学会会議室(芝浦) 3月19日(火) 東京—若手の会—
*統合 プログラミング PRO (CS)	6月16日(金) 学会会議室(芝浦) 8月22日(火)～24日(木) 別府コンベンションセンター—SWoPP'95— 9月29日(金) 東京近郊 11月30日(木)・12月1日(金) NTT(諏訪) 1月26日(金) ソニー ◎3月 地方 ※並列
情報学基礎 FI (IE)	5月18日(木) 学会会議室(芝浦) 7月中旬以降 地方 9月14日(木) 学会会議室(芝浦) 11月9日(木) 学会会議室(芝浦)
コンピュータと教育 CE (FR)	5月16日(火) 学会会議室(芝浦) (*IS研と合同) 7月21日(金) 学会会議室(芝浦) 11月17日(金) 学会会議室(芝浦) (*MPS研と合同) 1月19日(金) 学会会議室(芝浦)
アルゴリズム AL (CS)	5月12日(金) 北陸先端大 7月20日(木)・21日(金) 大阪電通大 9月21日(木) 名工大 (*MPS研と連続) 11月17日(金) 神戸大 1月22日(月) 学会会議室(芝浦) 3月15日(金) 中央大

(研究会名 英略称 (領域略称))

(開催日・会場他)

人文科学とコンピュータ CH (FR)	5月25日(木) 総合研究大学院大 8月 上越教育大 11月 立命館大 1月 大分大
情報メディア IM (IE)	5月12日(金) 慶大 ※情報スーパーハイウェイとマルチメディア 7月14日(金) 大分 ※メディア・フィールド・ワーク ◎ 9月7日(木)・8日(金) 1月12日(金) 学会会議室(芝浦) 3月8日(金) 東京
音楽情報科学 MUS (FR)	◎ 5月19日(金) イメージ情報科学研 7月21日(金)・22日(土) 合歓の郷(三重) -夏のシンポジウム- 10月中旬 京都ドイツ文化センター 12月1日(金)・2日(土) 音大 2月下旬 学会会議室(芝浦)
オーディオビジュアル複合情報処理 AVM (IE)	7月14日(金) 早大(理工) 9月14日(木) 大阪 12月8日(金) 早大(理工) 2月16日(金) 早大(理工)
グループウェア GW (IE)	4月20日(木) 学会会議室(芝浦) ◎ 6月8日(木)・9日(金) 北大 7月20日(木) 学会会議室(芝浦) 10月26日(木) 学会会議室(芝浦) 1月25日(木)・26日(金) 静岡大(*DPS研と合同) 3月7日(木) 松下電器
音声言語情報処理 SLP (FR)	5月25日(木) 国語研(*NL研と連続) ※「話し言葉の解析」と「コーパスに基づく解析・言語モデル」 7月20日(木) ~ 22日(土) 地方 ※自然発話の理解と対話システム 10月20日(金) 学会会議室(芝浦) ◎ 12月14日(木)・15日(金) NTT(厚木) 2月29日(木)・3月1日(金) 地方(*HI研と合同)
*新設 数理モデル化と問題解決 MPS (CS)	5月18日(木) 農工大 7月19日(水) 群馬大 9月20日(水) 地方(*AL研と連続) 11月17日(金) 学会会議室(芝浦) (*CE研と合同) 1月 東京 3月 東京

注) 上記開催予定は平成7年1月20日現在のものです。日程、会場等に変更される場合があります。最新号の本欄でご確認ください。

※：特集(小特集)・テーマ、 ◎：他学会との共催

SWoPP95：1995年並列/分散/協調処理に関する『別府』サマー・ワークショップ

Hokke96：ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価に関する『北海道』ワークショップ

個人会員新規専用

年 月 日

平成7年度研究会登録申込用紙

会員No. _____ フリガナ
会員氏名 _____

※ 登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。

(円)

申込	英略称/領域	研究会名	登録費	申込	英略称/領域	研究会名	登録費
	NL /FR	自然言語処理	6,200		IS /IE	情報システム	5,000
	DBS/CS	データベースシステム	5,000		PRO/CS	* プログラミング	5,300
	AI /FR	人工知能	3,600		FI /IE	情報学基礎	5,000
	SE /CS	ソフトウェア工学	6,000		CE /FR	コンピュータと教育	3,700
	ARC/CS	計算機アーキテクチャ	6,000		AL /CS	アルゴリズム	6,100
	OS /CS	システムソフトウェアと オペレーティング・システム	4,800		CH /FR	人文科学とコンピュータ	5,000
	CV /FR	コンピュータビジョン	5,100		IM /IE	情報メディア	4,900
	DA /CS	設計自動化	6,000		MUS/FR	音楽情報科学	3,500
	DPS/IE	マルチメディア通信と分散処理	6,000		AVM/IE	オーディオビジュアル 複合情報処理	5,400
	HI /IE	ヒューマンインタフェース	5,200		GW /IE	グループウェア	4,800
	CG /IE	グラフィクスとCAD	5,600		SLP/FR	音声言語情報処理	6,500
	HPC/CS	ハイパフォーマンス コンピューティング	5,400		MPS/CS	** 数値モデル化と問題解決	4,700

* : 統合 (「記号処理」と「プログラミング-言語・基礎・実践-」の2研究会の統合) ** : 新設
領域略称 ... CS : コンピュータサイエンス, IE : 情報環境, FR : フロンティア

登録申込み : _____ 件 合計金額 : _____ 円 請求書 : 要 (部) ・ 不要

※ 連絡先

勤務先/所属 : _____

Tel. _____ - _____ (内 _____)

※ 登録上の注意

- ・ 本申込書は新規の方のみご利用ください。(平成6年度に登録された方は使用できません。)
- ・ 登録者には研究会のつど研究報告を後日郵送します。
- ・ 研究報告送付先は学会誌と同様となります。(変更等は書面にて会員係までご連絡ください。)
- ・ 登録費の払込みは登録手続完了後、別途お送りする登録費専用払込用紙にてご送金ください。
- ・ 登録は、登録費の領収をもって正式の受付とします。

※ 申込/問合せ先

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7階 (社) 情報処理学会 研究会係
Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534

研究会発表申込書

研究会 (申込 年 月 日)

◆発表希望開催日 年 月 日 ()

◆タイトル

◆氏名, 略称所属 (発表者の右肩に○印)

◆概要 (なるべくタイトルの重複記入は避け, 補足事項等をご記入ください)

Grid table for abstract content.

◆原稿依頼送付先

◆連絡先

(会員No.)

年 月 日受付 送付 主査・幹事 ()

平成7年度シンポジウム等行事予定一覧

(7.1.20 現在)

平成7年度の主なシンポジウム等行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場等が変更されることもありますので、ご注意ください。

<講習会・シンポジウム> ()は主催研究会等英略称

1995年並列処理 (ARC, 他)	7.5.15 (月) ~ 17 (水)	アクロス福岡
オブジェクト指向'95 (SE)	7.6.1 (木) ~ 2 (金)	工学院大
デジタル動画像符号化標準の現状と今後の課題 (AVM)	7.7月	早大
夏のシンポジウム	7.8月	未定
情報科学若手の会	7.8月	未定
ビデオオンデマンド技術とその動向 (AVM)	7.9月	未定
コンピュータシステム (OS)	7.10月	未定
グラフィクスとCAD (CG)	7.10.5 (木) ~ 6 (金)	工学院大
マルチメディア通信と分散処理 (DPS)	7.10.18 (水) ~ 20 (金)	三菱電機 (淡路島)
ネットワーク時代の自然言語処理 (NL)	7.10.19 (木) ~ 20 (金)	NTT (横須賀)
情報のデザイン (IM)	7.11.9 (木) ~ 10 (金)	東京近郊
Groupware '95 (GW)	7.11.30 (木) ~ 12.1 (金)	未定
電子化ドキュメント (IS)	7.11月	東京
アドバンスド・データベース・システム (DBS)	7.12.5 (火) ~ 7 (木)	工学院大
情報処理教育と数理系カリキュラム (MPS, 他)	7.12.7 (木) ~ 8 (金)	農工大
プログラミング・シンポジウム	8.1.9 (火) ~ 11 (木)	箱根小湧園
情報学シンポジウム (FI)	8.1月	日本学術会議講堂

<小規模国際会議> ()は主催研究会英略称

1995年計算機性能の測定ならびに解析に関する 国際ワークショップ [PERMEAN'95] (ARC, HPC)	7.8.21 (月) ~ 22 (火)	別府コンベンション センター
自然言語処理環太平洋シンポジウム '95 (NL)	7.12.4 (月) ~ 6 (水)	韓国
アルゴリズムとコンピューテーション国際シンポジウム [ISAAC '95] (AL)	7.12.4 (月) ~ 6 (水)	オーストラリア
ソフトウェア工学に関する国際会議 [APSEC] (SE)	7.12.5 (火) ~ 8 (金)	オーストラリア

<国際会議> ()は関連研究会英略称

第4回高度応用のためのデータベースに関する 国際シンポジウム [DASFAA '95] (DBS)	7.4.10 (月) ~ 13 (木)	シンガポール
第2回自律分散システム国際会議 [ISADS '95] (DPS)	7.4.25 (火) ~ 27 (木)	アリゾナ州 フェニックス
人間とコンピュータの関わりあいに関する第6回国際会議 [HCI Int'l '95]	7.7.9 (日) ~ 14 (金)	パシフィック横浜
ASP-DAC'95/CHDL'95/VLSI'95 [ACV '95]	7.8.29 (火) ~ 9.1 (金)	日本コンベンション センター
ネットワークとプロトコルに関するワークショップ [IEEE ICNP-95] (DPS)	7.11.7 (火) ~ 10 (金)	NEC 本社ビル
10th International Conference on Information Networking [ICOIN-10] (DPS)	7.12月	未定
Multimedia Japan (OS, 他)	8.3月	パシフィック横浜

<全国大会・連合大会>

電気・情報関連学会連合大会	7.8.8 (火) ~ 9 (水)	京大
第51回 全国大会	7.9.20 (水) ~ 22 (金)	富山大

情報処理学会第50回全国大会(平成7年前期) の開催について

日 程 平成7年3月15日(水)～17日(金)

会 場 青山学院大学(東京都渋谷区渋谷)

プログラム 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通・会場などはプログラムの会場案内図を参照してください。

一般参加の方へ

1. 総受付 2号館 2F 222 教室
2. 参加費 会 員 2,000 円(賛助会員は1口1名として正会員に準じます。
非会員 4,000 円(ただし、電気、電子情報通信、照明、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。
会員番号を申し出てください。)
学 生 無料
3. 論文集 定 価 6,000 円(予約は締切りました。当日お頒けできるのは、残部のある場合にかぎります。)
4. 懇親会 3月15日(水)17:30～ 青学会館(会費4,000円)
○参加される方は、受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず総受付の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、前の講演者の講演時間中に、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含め、15分を原則とします(都合により13分のセッションもあります)。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。

奨励賞の表彰

3月15日(水)午後第49回全国大会奨励賞受賞者の表彰をA会場(9号館1F910教室)で行います。

その他の一般注意

1. 食堂、休憩室などはプログラムの会場案内図等を参照のこと。
2. 電話の呼出しはいたしません。(万一、やむを得ない場合のみ、伝言板に掲示します)
Tel. (03)3498-7543 Fax. (03)3498-7546
3. 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。

行事No. RS 9 4

情報処理学会「連続セミナー'94」 ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための 最新情報テクノロジーの理論と実践 参加者募集

企業等において、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング(BPR)が積極的に検討されていますが、この中で先端情報テクノロジーが要素技術として必要不可欠であり、これを取り入れた情報システムが極めて重要な役割を占めています。

本セミナーは、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング(BPR)の核心である最新情報テクノロジーの理論および実践について、6回のテーマで実施しております。第6回は、以下のテーマで行われます。参加ご希望の方は、本会告に掲載されております行事申込書に必要事項をご記入の上、お申込みください。多数の参加をお待ちしております。

会 場 工学院大学 3F 312 教室(東京都新宿区西新宿)
参加費 会 員 18,000 円 非会員 25,000 円 学 生 2,500 円
※参加費には資料代が含まれています。
資料のみ 5,000 円(送料込)

第6回]平成7年3月9日(木)インターネットの新しい展開

・セッション1(10:00-11:15)

内外のインターネットの現状と動向

石田晴久(東大)

・セッション2(11:30-12:45)

インターネットの新しいサービスとビジネス(Mosaic, WWW, Proxy サーバなど)

後藤滋樹(NTT)

・セッション3(14:00-15:15)

インターネットの新しい技術(IPngとWIDEにおける研究成果)

村井 純(慶大)

・セッション4(15:30-17:30)

インターネットの展開と課題

コーディネータ:石田晴久(東大)

パネリスト:後藤滋樹(NTT), 村井 純(慶大), 小西和憲(KDD),

高橋 徹(東京インターネット)

計算機性能の測定ならびに解析に関する 国際ワークショップ

- PERMEAN '95 -

International Workshop on Computer Performance Measurement and Analysis

情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会ならびにハイパフォーマンスコンピューティング研究会では、これまでSWoPP, Hokke-94などで計算機性能の測定ならびに解析に関する研究交流の場を持ち、多くの発表と有意義な討論を行ってきました。そこで、国内外の研究者・技術者が一堂に会し、最新の研究・技術に関する研究発表と討論を行うことを目的として、小規模国際会議「計算機性能の測定ならびに解析に関する国際ワークショップ(PERMEAN'95)」を下記要項にて開催することとしました。皆様の積極的なご応募、ご参加を期待しております。

日 程 : 1995年8月21日(月)~22日(火)
場 所 : 別府コンベンションセンター (大分県別府市)
主 催 : (社)情報処理学会 計算機アーキテクチャ研究会
ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

開催趣旨 : 計算機システムは、近年、その構成ならびにアプリケーションがますます複雑になってきています。たとえば、システム構成に関しては、数百から数千台規模のプロセッサから成る並列計算機が試作/商用化されています。しかしながら、それに伴って、計算機システムの性能を把握し、かつ、その性能の構成要因を理解するのがますます困難となり、計算機システムの開発者やユーザの中には計算機システムの性能評価に関してさまざまな疑問、誤解、等が生じているように見受けられます。

本ワークショップは、このような状況に応えるべく、計算機システムの性能測定技術ならびに性能解析技術に関する実際の側面を広く議論する場を提供するものです。また、これらの技術に関する共通の概念を共有することを目指し、計算機システムの開発者およびユーザ相互の技術交流を目的としています。

論文募集要項

論文内容 : Topics include, but are not limited to:

・ BENCHMARKING ・ COMPUTER SYSTEM ARCHITECTURE: PROCESSOR, MEMORY, I/O,
AND NETWORK ・ DEFINITIONS OF METRICS ・ INSTRUMENTATION AND MEASUREMENT
・ PERFORMANCE MODELING ・ TOOLS AND SYSTEM SOFTWARE ・ USER APPLICATION
ANALYSIS AND CHARACTERIZATION ・ WORKLOAD CHARACTERIZATION

日 程 : 査読用論文締切 1995年3月1日 (水) 必着
採否通知 1995年5月1日 (月)
カメラレディ原稿締切 1995年7月1日 (土) 必着

使用言語 : 英 語

記述形式 : 査読用論文 (5部送付のこと)

A4版用紙10ページ以内のフルペーパー(図表を除く)。10ポイント以上のフォント使用。200ワード程度の概要、5個程度のキーワード、著者名、連絡先住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレスを記すこと。

論文送付先 : 〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学 理学部 情報科学科 気付 PERMEAN'95係

問合せ先 : FAX: (0298) 58-5882 PERMEAN95 事務局

Email: permean95@etl.go.jp

URL: <http://www.tc.cornell.edu/permean95/>

<http://www.etl.go.jp/Meetings/permean95/>

その他 : 採録論文はワークショップ後、再査読を経て米国の出版社より出版予定。
本ワークショップ後、SWoPP'95が同会場にて開催予定。

実行委員会 : Co-Chairs: Yoshio Oyanagi (University of Tokyo), Gary Johnson (George Mason University),

Program Committee: John Barton (NASA Ames), Akira Fukuda (NAIST), John Gustafson (Ames Lab), James Hack (NCAR), Allen Malony (University of Oregon), Kevin McCurley (Sandia National Labs), Gary Montry (Southwest Software), Kazuaki Murakami (Kyushu University), Umpei Nagashima (Ochanomizu University), Diane Rover (Michigan State University), Mitsuhsa Sato (Electrotechnical Lab, MITI), David Schneider (Cornell Theory Center), Satoshi Sekiguchi (Electrotechnical Lab, MITI), Mitsuo Yokokawa (JAERI)

アルゴリズム研究会
小規模国際会議 論文募集

Call for Papers
ISAAC95

Sixth Annual International Symposium on
Algorithms and Computation

Cairns, Australia
4-6 December 1995

The symposium is intended to provide a forum for researchers working in algorithms and the theory of computation. Papers presenting original research in the areas of design and analysis of algorithms, computational complexity, and theory of computation are sought. Typical, but not exclusive, topics of interest include:

- Automata, languages, and computability
- Algorithms (combinatorial / graph / geometric / randomized)
- VLSI and parallel algorithms
- Networks and distributed algorithms
- Theory of learning and robotics
- Number theory and cryptography
- Graph drawing
- Computational logic

Submissions:

Authors are requested to submit 15 copies (in English) of an extended abstract to:

Professor John Staples
Department of Computer Science
University of Queensland
Queensland 4072
Australia

The extended abstract should include the e-mail address of the contact person and be printed on at most five double-spaced, double-sided pages.

Information:

Dr. Bob Cohen
Department of Computer Science
University of Newcastle
Callaghan, NSW 2308
Australia
phone: +61 049 21 5291
fax: +61 049 21 6929
email: isaac95@cs.newcastle.edu.au

Symposium Chair:

Peter Eades

Program Committee:

John Staples	Australia	(Chair)
Peter Eades	Australia	(Co-Chair)
Naoki Katoh	Japan	(Co-Chair)
Sue Whitesides	Canada	
Nick Wormald	Australia	
Takeshi Tokuyama	Japan	
Seinosuke Toda	Japan	
Guiseppe DiBattista	Italy	
Sing-Ling Lee	Japan	
Xiang-Sun Zhang	China	
Mikhail Atallah	USA	
Dorothea Wagner	Germany	
Bruce Litow	Australia	
Jeff Vitter	USA	
Norbert Eisinger	Germany	

Invited Speakers:

Franco Preparata	USA
John Crossley	Australia
Satoru Miyano	Japan

Important Dates:

Extended Abstract due:	12 May 95
Acceptance/rejection notification:	31 July 95
Camera-ready version due:	4 Sept 95

This conference is supported by:

The Australian Computer Society
The University of Newcastle
James Cook University
The Software Verification Research Centre
The Computer Science Association (Australia)
Special Interest Group on Algorithms, Information Processing Society of Japan
Technical Group on Computation, Institute of Electronic, Information and Communication Engineers
Combinatorial Mathematics Society of Australasia



ADVANCE ANNOUNCEMENT
The Second International Symposium on Autonomous Decentralized Systems

ISADS 95

April 25-27, 1995 • Mesa Pavilion Hilton • Phoenix, Arizona, USA

General Chair
Stephen S. Yau, Arizona State Univ., USA
Fax: 1-602-965-2751
Email: yau@asu.edu

Advisors
Masanori Ozeki, RTRI, Japan (IPST)
Atsunobu Ichikawa, NPA, Japan (SICE)

Program Committee Chair: Joseph E. Urban, Arizona State Univ., USA
Fax: 1-602-965-2751
Email: joseph.urban@asu.edu

Vice Chairs:
Hideo Aiso, Keio Univ., Japan
Radu Popescu-Zeletin, T. Univ. of Berlin, Germany
Fax: +49-30-254-99200
Email: zelein@fokus.berlin.gmd.dbp.de
Ahmed Tantawy, IBM Res. Center, USA
Fax: +1-914-784-7455
Email: admed@watson.ibm.com

Program Committee Members
Wojciech Cellary, Franco-Polish School, Poland
Sujeet Chand, Rockwell Int'l Corp., USA
Jung W. Cho, KAIST, Korea
Daniel Cooke, Univ. of Texas - El Paso, USA
David J. Farber, Univ. of Penns., USA
Domenico Ferrari, Univ. of Cal. at Berkeley, USA
Hiroyuki Fujita, Univ. of Tokyo, Japan
Sumit Ghosh, Brown Univ., USA
Josiah Hoskins, Allen-Bradley, USA
Chikao Imamichi, Mitsubishi Elec. Corp., Japan
Doug E. Jensen, Digital Equipment Corp., USA
Kane Kim, Univ. of Cal. at Irvine, USA
Hermann Kopetz, Technical Univ. of Vienna, Austria
Chi Tau Robert Lai, Int. Soft. Proc. Cons., USA
H.N. Mahabala, Indian Inst. of Tech., India
Kinji Mori, Hitachi, Ltd., Japan
Edger Neut, GMD, Germany
Yoshikazu Nishikawa, Kyoto Univ., Japan
Eugenio Oliveira, Univ. of Porto, Portugal
Van Dyke H. Parunak, Industrial Tech. Inst., USA
Joseph C. Pasquale, Univ. of Cal. at San Diego, USA
C. V. Ramamoorthy, Univ. of Cal. at Berkeley, USA
James E. Reed, Kaman Sciences Corporation, USA
Richard D. Schlichting, Univ. of Arizona, USA
Norio Shiratori, Tohoku Univ., Japan
Luca Simoncini, Univ. of Pisa, Italy
Shinsuke Tamura, Toshiba Corp., Japan
Cheng-Wei Wang, Beijing Inst. Sys. Eng., China
Feng-Jian Wang, National Chiao-Tung Univ., Taiwan

Operations Committee
Doo-Hwan Bae, KAIST, Korea
Debra Trantuna Calliss, Arizona State Univ., USA
Frank Calliss, Arizona State Univ., USA
Partha Dasgupta, Arizona State Univ., USA
Fax 1-602-965-2751
Email: partha.dasgupta@asu.edu
Kinji Mori, Hitachi, Ltd., Japan
Fax: +81-44-966-6823
Email: kmori@sdh.hitachi.co.jp
Robert Smith, Motorola, Inc., USA
Phone: 1-602-892-1789

SYMPOSIUM-AT-A-GLANCE

Tuesday, April 25	9:30 - 10:30 am Ballroom	Opening Session: Stephen S. Yau, General Chair, Arizona State Univ., USA Keynote Address: "Information Infrastructure and Wide Information Service Systems." Kyouchi Shimazaki, Nippon Telegraph & Telephone Corp., Japan		
	11:00 am - 12:30 pm	A1: Mobile Communications Chair: K. Zerangue, AG Comm. Sys., USA	B1: Software Architecture Chair: D. Cooke, Univ. of Texas-El Paso, USA	C1: Network Architecture Chair: H. Nakanishi, Hitachi, Ltd., Japan
	2:00-3:30 pm Ballroom	Plenary Panel P1: "Highly Distributed Control Systems for Factory Control." Chair: Sujeet Chand, Rockwell Int'l Corp., USA		
	4:00-5:30 pm	A2: Railway Systems Chair: B. Buckles, Tulane Univ., USA	B2: Software Techniques/ Tools Chair: C. V. Ramamoorthy, Univ. of Cal. at Berkeley, USA	C2: Network Protocols I Chair: D. Castillo, Motorola, USA
Wednesday, April 26	9:00 - 10:00 am Ballroom	Keynote Address: "The Future of Information Networks and Distributed Applications." Hanafy Meleis, National Inst. of Standards and Technology, USA; Chair: Kinji Mori, Hitachi, Ltd., Japan		
	10:30 am - 12:00 noon	A3: Manufacturing Systems Chair: M. Zerofsky, Martin Marietta, USA	B3: Interoperability Chair: Y. Hirakawa, NT&T, Japan	C3: Network Protocols II Chair: M. Haas, Bell-Northern Research, USA
	1:30-3:00 pm Ballroom	Plenary Panel P2: "Virtual Reality Technology for Consensus Development in Large Systems." Chair: Michitaka Hirose, Univ. of Tokyo, Japan		
	3:30-5:30 pm	A4: Multimedia Chair: A. Khwaja, Intel Corp., USA	B4: Performance Chair: S. Hawker, Honeywell, USA	C4: Fault Tolerance Chair: D. Farber, Univ. of Pennsylvania, USA
Thursday, April 27	9:00 - 10:00 am Ballroom	Keynote Address: "Moving Towards Information Society in Europe." Spiros Konidaris, Commission of the European Community, Belgium; Chair: Ahmed Tantawy, IBM Research Center, USA		
	10:30 am - 12:00 noon	A5: Collaborative Supporting Environments Chair: M. Taylor, Honeywell, USA	B5: Computer Supported Cooperative Work Chair: S. Tamura, Toshiba, Japan	C5: Agents I Chair: H. Mahabala, Ind. Inst. Tech., India
	1:30-3:00 pm	A6: Control Applications Chair: J. D. Carothers, Univ. of Arizona, USA	B6: Software Environments Chair: R. Lai, Int. Soft. Proc. Cons., USA	C6: Agents II Chair: D. Jensen, Digital Equip. Corp., USA
	3:30-5:00 pm Ballroom	Plenary Panel P3: "Future of Autonomous Decentralized Systems and Their Applications." Chair: Joseph E. Urban, Arizona State Univ., USA		

Post-symposium technical tours: Friday, April 28 for one full day, 7:30 am - 7:00 pm: Honeywell Industrial Automation and Control, and Phoenix Newspapers. The tours are for ISADS 95 attendees only, and seats are limited. A nominal fee is charged to cover part transportation and luncheon cost.

The complete advance program, including the detailed information on all the sessions, technical tours, social functions, registration and hotel reservations can be obtained by contacting any committee members listed on the list with Fax numbers, Email addresses or phone numbers. The advance program is also available on the World Wide Web (WWW) at <http://www.computer.org> or electronically by anonymous ftp from ecsfinfo.eas.asu.edu in the directory /pub/isads95.

For registration information contact:

Partha Dasgupta
Arizona State University
CSE Depart., Tyler Mall - GWC 206
Tempe, Arizona 85287-5406 USA
Phone: 1-602-965-5583; Fax 1-602-965-2751
Email: partha.dasgupta@asu.edu
(Register by **April 10, 1995** to receive the reduced registration fee)

For local and hotel information contact:

Mesa Pavilion Hilton (in a Phoenix suburb)
Mesa, Arizona 85210, USA
Phone: 1-602-833-5555
1-800-544-5866 (in U.S. outside Arizona)
Fax: 1-602-649-1380
(Make hotel reservations early and mention ISADS 95 for large discounted room rate by **April 10, 1995**)

Sponsored by



IEEE Computer Society



The Institute of Electrical & Electronics Engineers, Inc.



Information Processing Society of Japan



The Society of Instrument and Control Engineers of Japan

In Cooperation with



International Federation of Automatic Control



International Federation for Information Processing



会員の方へのお願い

事務局会員係

[平成7年度会費および論文誌購読費の納入]

平成7年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を個人会員（一括扱い会員は除く）の方へ、先月中旬発送いたしました。送付先不明等の理由により発送ができない会員の方々がおります。お近くに、まだ納付書が届いていないあるいは最近機関誌等が届いていないという会員の方がおられましたら、至急事務局会員係までお知らせください。

また、平成8年度から会費・購読費の預金口座自動振替納入を希望する正会員（一括扱いの会員は除く）の方は、「預金口座振替依頼書」によりお申込みください。

[大学学部卒業（修士・博士課程修了）予定の学生会員の方へ]

上記請求時に、本年3月学部卒業および大学院修了の方々に、正会員昇格ということで、正会員費を請求いたしました。つきましては、下記事項に該当されます場合には書面にて、会員係までご連絡願います。

(1)学生会員継続の場合

郵便振替用紙の会費金額を訂正（9,600円→4,800円）の上、裏面通信欄に進学先、修了予定年月、機関誌送付先等変更事項をご記入いただき、ご送金願います。

(2)就職等による機関誌送付先等変更の場合

「変更連絡届」（偶数月号に添付）または郵便振替用紙の裏面通信欄をご利用いただき、新しい勤務先、所属、および送付先等をご連絡ください。

[退会について]

「変更連絡届」等書面にて退会希望の旨をご連絡願います。また、平成6年度末退会希望の方は3月10日までにご連絡ください。会費滞納等による自動退会、休会制度はありません。なお、退会者の再入会等は、会員係までご連絡ください。

会費および論文誌購読費が未納の場合には下記細則抜粋の計算式により、月割で精算のうえ請求させていただきます。購読費に関しましても同様となります。

* 会費の徴収に関する細則より抜粋

会費の滞納者から退会の届けがあったときは、滞納会費として次の金額を請求する。

$$\text{請求額} = \text{会費年額} \times \frac{\text{滞納年度の送本月数}}{12}$$

(購読費年額)

退会のお申し出がありませんと、会費未納のため本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

[機関誌等の送付先変更について]

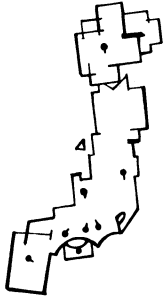
2月から5月にかけて大学院進学、転勤、引越し等会員の異動が非常に多く、機関誌等の未着その他連絡不十分による事故が多発いたします。勤務先、自宅住所等に変更が生じた場合には、早急に「変更連絡届」にてご連絡ください。変更の受付は毎月20日締切りで、翌月号から変更となります。

[新入会会員勧誘のお願い]

豊かな情報社会の実現を21世紀にむけて、新しい情報人材への期待が高まる今日、情報処理に関する学術・技術の研究・開発をされてる方、関心をお持ちの方で入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。「入会申込書」（奇数月号に添付）

また、会員10名以上の職場等には「一括扱い」という、機関誌の一括配布等をする制度があります。詳細につきましては会員係までお問合わせ願います。

支部だより



情報処理学会地方支部連絡先

北海道支部	〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内 Tel.(011)706-6819 Fax.(011)717-4745 e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp
東北支部	〒980 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院情報科学研究科内 Tel.(022)263-9437 Fax.(028)263-9437 e-mail:nakao@eccei.tohoku.ac.jp
東海支部	〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内 Tel.(052)204-4517 Fax.(052)204-4521
北陸支部	〒930 富山県富山市五福3190 富山大学工学部電子情報工学科内 Tel.(0764)41-1271(ext.2707) Fax.(0764) 41-8432 e-mail:hirose@ecs.toyama-u.ac.jp
関西支部	〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター一気付 Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443 e-mail:infor-soci@kiis.or.jp
中国支部	〒724 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内 Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195 e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp
四国支部	〒780 高知県高知市曙町2-5-1 高知大学理学部情報科学科内 Tel.(0888)44-8336 Fax.(0888)44-8361 e-mail:tkikuchi@is.kochi-u.ac.jp
九州支部	〒812 福岡県福岡市博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル NTT データ通信(株)九州支社総務担当内 Tel.(092)475-5123 Fax.(092)475-5185 e-mail:yasuura@is.kyushu.ac.jp

北海道支部 情報処理北海道シンポジウム '95 - Info-Hokkaido'95 -

日時 平成7年4月19日(水), 20日(木) 9:00~17:00

会場 北大学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

特別講演

日時 4月19日(水) 13:00~14:30 (聴講自由, 無料)

演題 マルチメディアにおける正の論理, 負の論理

荒川弘熙氏 (NTTデータ通信(株))

チュートリアル

日時 平成7年4月20日(木) 9:00~16:30 (有料)

内容 情報システムの計画技法

ソフトウェアの上流工程をサポートする基礎技術, 開発技法ならびに支援環境を解説する

参加費 会員, 賛助会員 2,000円 一般 3,000円 学生(大学院生を含む) 1,000円

申込方法 Tel, Fax, 電子メールまたは葉書で, 住所, 氏名, 電話番号, 所属学会, 勤務先または大学名・学科・学年を事務局まで連絡すること。申込みは, 開催日の1週間前まで。定員(30名)になり次第締切り

一般講演

日時 平成7年4月19日(水)~20日(木) 9:00~17:00 (聴講自由, 無料)

講演者 特に制限なし(登壇発表は1人1件とする)

講演内容 情報処理に関する最近行った研究および調査の報告, 新しい企画および開発の報告, 新製品(ソフトウェア, ハードウェア, システム)の紹介など

講演時間 形式(1)15分以内(質疑応答時間を含む) 形式(2)30分以内(質疑応答時間を含む)

講演形式 OHPの使用のみとする

講演予稿 オフセット印刷による。公募原稿は所定のLatex形式を使用すること(Latexスタイルファイルは事務局およびinfo-hokkaidoメーリングリストにて配布します)講演者には講演論文集を1部進呈する(別刷は取り扱わない)。

申込方法 情報処理学会北海道支部への申し出により講演申込書を交付する

講演参加費 予稿1頁につき2,000円(ただし, 4頁以内とする)

原稿提出先 情報処理学会北海道支部

原稿締切日 平成7年3月10日(金)午後5時必着 講演申込書および原稿に講演参加費を添えて提出すること

平成6年度北海道支部奨励賞の表彰

平成6年度北海道支部奨励賞は, 下記の5君に授与されました。

論文発表 情報処理北海道シンポジウム'94 (平成6年4月21日~22日 北大学術交流会館)

- ・項書換えシステム処理系における自己反映計算 沼澤政信君 (北大工学部, 昭和44年8月30日生)
- ・正準相関分析における変量の冗長性検定の検出力 鈴木晶夫君 (北大工学部, 昭和42年9月18日生)

- 論文発表 平成6年度北海道支部大会(電気関係学会北海道支部連合大会)(平成6年10月15日～16日室蘭工大)
 ・講座配属アルゴリズムの完備性の解析 能登正人君(北大工学部, 昭和42年8月8日生)
 ・遺伝的アルゴリズムを用いた帰納的学習による機械翻訳手法
 越前谷博君(北海学園大工学部, 昭和42年10月19日生)

東海支部 見学会

- 日時 平成7年3月29日(水), 30日(木) 9:00～17:00
 見学先 (株)セイノー情報サービス(大垣市田口町1)
 行程 13:00 JR東海道線大垣駅(南口)集合(時間厳守)(出発 13:10)
 13:30～15:30 見学
 16:00 解散(予定)(大垣駅)
 参加資格 情報処理学会東海支部会員に限る 参加費 無料 定員 50名(先着順)
 申込方法 ハガキに「見学会申込み」と記入し, (1)会員番号, (2)氏名, (3)勤務先, 所属(役職), (4)連絡先, Tel, Fax, を明記の上お申込みください, 折り返し参加証をFax.返信します.
 申込締切 平成7年3月10日(金)必着 申込み/照会先 情報処理学会東海支部

教官募集



●常葉学園富士短期大学

- 募集人員 非常勤講師2名
 担当科目 ワープロ, 表計算, DB, 図形処理, イメージ処理, ハードウェア, ネットワークの各々の概論及び演習
 応募資格 教育機関または企業の教育部門での教育歴を有するかまたは, これと同等以上の能力を有する30歳前後の方
 着任時期 平成7年4月1日
 提出書類 履歴書, 職務経歴書, 研究業績リスト
 応募締切 平成7年3月6日
 送付先 〒417 富士市大淵325 常葉学園富士短期大学教務課
 照会先 Tel.(0545)36-1133 Fax.(0545)36-2651
 その他 勤務成績により専任登用の可能性あり。静岡県東部地域に居住可能の方

●徳山工業高等専門学校情報電子工学科

- 募集人員 講師または助教授1名
 専門分野 計算機工学(OS, プログラム言語, 計算機アーキテクチャ, コンピュータネットワーク)
 応募資格 博士号取得者で30歳代前半から40歳代前半の方
 着任時期 平成7年7月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷
 応募締切 平成7年3月31日
 送付先 〒745 徳山市久米高城3538 徳山工業高等専門学校情報電子工学科 馬渡賢治
 照会先 情報電子工学科 江口賢和 Tel.(0834)28-3766

●国際基督教大学教養学部理学科

募集人員 教授または准教授1名
専門分野 計算機システムおよびソフトウェア関連分野
応募資格 博士号取得者で修士課程担当可能な50歳代前半までの方
着任時期 平成8年4月
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、今までの研究概要、推薦書3通（内2通は研究業績について、1通はキリスト者であることを証する牧師またはこれに準ずる人のものであること）、健康診断書
応募締切 平成7年5月31日
送付先 〒181 三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学理学科 田中武二 「教官応募書在中」と朱書き書留
照会先 Tel.(0422)33-3241 Fax.(0422)33-1447 e-mail:takeji@icu.ac.jp

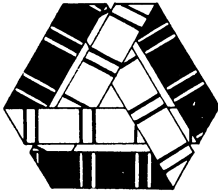
●鳥取大学工学部知能情報工学科

募集人員 教授1名
専門分野 ソフトウェア、通信システム、人工知能等
応募資格 博士号取得者で修士課程担当可能な45歳以上の方が望ましい
着任時期 平成7年11月1日以降のなるべく早い時期
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷
応募締切 平成7年7月31日
送付先 〒680 鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学工学部知能情報工学科長 増山 博
照会先 Tel.(0857)31-5220 Fax.(0857)31-0879

●郵政省通信総合研究所

募集人員 室長1名
所 属 関西支所（関西先端研究センター）
専門分野 知識情報処理等の情報科学分野（計算理論、パターン認識、ニューラルネット、画像処理、音声処理）
応募資格 博士号取得者で30歳代後半程度の方が望ましい
着任時期 平成7年度のなるべく早い時期
提出書類 履歴書、研究経歴業績リスト、主要論文別刷、本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先（2名）
応募締切 適任者が得られ次第締め切ります
送付先 〒184 小金井市貫井北町4-2-1 郵政省通信総合研究所企画部企画課長 大森慎吾
照会先 Tel.(0423)27-7457 Fax.(0423)27-7586

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分、**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手90円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）◆：本会主催・共催 ◇：本会協賛

1.開催日 2.会場 3.照会先 4.その他

[国際会議]

- ◇ The Ninth Int'l. Conf. on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems (001)
1. 1996年6月4日(火)～7日(金) 2. ACROS福岡 (福岡国際会議場) 3. 福岡工業大学 田中卓史 Tel.(092)606-3131
Fax.(092)606-1342 e-mail:tanaka@fit.ac.jp
-
- ◇ 第4回国際ワークショップ「ロボットと人とのコミュニケーション」(002)
1. 1995年7月5日～7日 2. 早稲田大学国際会議場 3. ATR 通信システム研究所 知能処理研究室RO-MAN '95実行委員長 岸野文郎 Tel.(07749)5-1211 Fax.(07749)5-1208
-
- Second IJCAI Workshop, Engineering Problems for Qualitative Reasoning (003)
1. November 20, 1995 2. Montreal, Canada 3. 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 石田好輝 Tel.(07437)2-5351
Fax.(07437)2-5359 e-mail:ishida@is.aist-nara.ac.jp 4. 原稿締切日: March 31, 1995
-
- ICCPOL '95-Int'l. Conf. on Computer Processing of Oriental Languages Twenty Year Anniversary Conf. (004)
1. November 23-25, 1995 2. Honolulu, Hawaii 3. 学術情報センター 研究開発部 山田尚勇 Tel.(03)3942-6904
Fax.(03)5395-7064 e-mail:yamada@nacsis.ac.jp 4. paper deadline: May 1, 1995
-
- 1995 IEEE Int'l. Conf. on Robotics and Automation (005)
1. 1995年5月21日～27日 2. 名古屋会議センター 3. ICRA事務局 (株) インターグループ内 Tel.(052)263-6261
Fax.(052)263-6298
-
- SECURICOM 95-13th Worldwide Congress on Computer and Communications security and Protection (006)
1. June 8-9, 1995 2. Paris, FRANCE 3. MCI Tel.33-1-44-53-72-20 Fax.33-1-44-53-72-22
-
- ◇ IBS '95-国際放送シンポジウム'95-マルチメディア時代と放送 (007)
1. 1995年11月13日(月)～15日(水) 2. 東京全日空ホテル 3. 国際放送シンポジウム(IFS'95)実行委員会 Tel.(03)3465-3857
Fax.(03)3465-3867
-
- ◇ BIES'95-Int'l. Workshop on Biologically Inspired Evolutionary Systems (008)
1. 1995年5月30日～31日 2. ソニー(株) (東京都品川区北品川) 3. (株) ソニーコンピュータサイエンス研究所BIES'95
事務局 e-mail:bies-95@csl.sony.co.jp
-
- ◇ 1996年度マルチメディア・コンピューティングとシステムに関する国際会議 (009)
1. 1996年6月17日(月)～21日(金) 2. 広島国際会議場(広島市中区中島町) 3. IEEE Computer Society Tel.(03)3408-3118
Fax.(03)3408-3553
-
- ◇ Fifth Int'l. Symposium on Computerization and Networking of Materials Property Data (010)
1. 1995年11月6日～8日 2. 筑波 3. NMC Tel.(06)443-5321 Fax.(06)443-3767
-
- 第4回神経科学世界大会(011)
◇ 1. 1995年7月9日(日)～14日(金) 2. 国立京都国際会館 3. (株) アイシーエス企画内 第4回神経科学世界大会事務局
Tel.(03)3272-7981 Fax.(03)3273-2445

[国内会議]

- 先進情報技術シンポジウム「マルチメディア時代の新しいユーザインタフェース」
1. 平成7年3月27日(月) 2. 機械振興会館(東京都港区芝公園) 3. (財)日本情報処理開発協会 開発研究室
Tel.(03)3432-9391 Fax.(03)3431-4324 e-mail:yoshizum@jipdec.or.jp
-
- ◇ 第18回路実装学会セミナー「回路と実装の最近の動向と今後の展望」
1. 平成7年2月15日(水) 2. 私学会館(東京都千代田区九段北) 3. 回路実装学会 Tel.(03)5310-2010 Fax.(03)5310-2011

-
- ◇ 第12回日本医学物理学学会研究発表会
 1. 平成7年7月26日～28日 2. 法政大学工学部(東京都小金井市梶野町) 3. 日本医学物理学学会第12回研究発表会事務局
 法政大学工学部 電子情報学科 尾川浩一 Tel. & Fax.(0423)87-6189
-
- ◇ システム制御情報イブニングスクールチュートリアル講座「システム同定入門」
 1. 平成7年3月3日(金),7日(火),10日(金),14日(火),17日(金) 2. 住友電設(株)大阪本社(大阪市西区阿波座),住友電設
 (株)東京本社(東京都港区芝) 3. システム制御情報学会 イブニングスクール係 Tel.(075)751-6413 Fax.(075)751-6037
-
- ◇ 講習会「感性情報処理とマルチメディアネットワーク」
 1. 平成7年3月3日(金) 2. 千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市) 3. 日本ファジィ学会関西支部長 片井 修
 Tel.(075)753-5201 Fax.(075)771-7286
-
- ◇ 第9回日本エム・イー学会秋季大会
 1. 平成7年10月26日(木)～27日(金) 2. 山形県高度技術開発センター(山形市沼木) 3. 山形大学工学部電子情報工学科
 内 第9回日本エム・イー学会秋季大会事務局 Tel.(0238)26-3356 Fax.(0238)26-2082 e-mail:me95au@dips.yz.yamagata-u.ac.jp
-
- ◇ 先端計測'95シンポジウム
 1. 平成7年5月17日(水)～18日(木) 2. 日本学術会議講堂 3. 東京大学工学部精密機械工学科内 大園成夫
 Tel.(03)3812-2111(ex6451) Fax.(03)5689-4372 e-mail:ozono@ozono.pe.u-tokyo.ac.jp
-
- ◇ 講習会「カオス応用システム」
 1. 平成7年3月22日(水) 2. パシフィコ横浜 3. 新菱冷熱工業(株) 情報システムP&E 柴野 Tel.(045)224-2880
 Fax.(045)224-2885
-
- ◇ SICEセミナー—ファジィニューラルネットワークの現状と新たな展開—
 1. 平成7年4月21日(金) 2. 大阪府教育会館(大阪市天王寺区) 3. (社)計測自動制御学会 Tel.(03)3814-4121
-
- ◇ 平成7年電気学会電子・情報・システム部門大会
 1. 平成7年8月31日(木)～9月1日(金) 2. 東京電機大学(東京都千代田区神田錦町) 3. (社)電気学会
 Tel.(03)3201-0983 Fax.(03)3201-1983
-
- ◇ 第15回光波センシング技術研究会
 1. 平成7年5月30日(火)～31日(水) 2. 川崎市産業振興会館 3. 光波センシング技術研究会事務局
 Tel.& Fax.(03)3466-1899 4. 講演申込締切:平成7年3月10日(金)
-
- ◇ 平成7年度第1期教育講座「海外技術進出への道」
 1. 平成7年5月24日,25日,6月7日,8日 2. (財)神奈川科学技術アカデミー 3. (財)神奈川科学技術アカデミー 教育
 部教育研修科 Tel.(044)819-2033 Fax.(044)819-2026
-
- ◇ ロボティクス・メカトロニクス講演会(ROBOMECH'95)
 1. 平成7年6月22日(木)～23日(金) 2. 川崎市産業振興会館 3. (社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門
 Tel.(03)3379-6781 Fax.(03)3379-0934
-
- ◇ 第5回設計工学・システム部門講演会
 1. 平成7年7月10日(月)～11日(火) 2. 早稲田大学国際会議場 3. (社)日本機械学会 設計工学・システム部門
 Tel.(03)3379-6781 Fax.(03)3379-0934 4. 講演申込締切:平成7年2月28日(火)
-
- ◇ 第38回自動制御連合講演会
 1. 平成7年12月4日(月)～6日(水) 2. 筑波大学大会会館(つくば市天王台) 3. (社)計測自動制御学会
 Tel.(03)3814-4121 Fax.(03)3814-4699
-
- ◇ 第19回「ロボット・フィルムフェスティバル」
 1.2. (東京)平成7年2月15日(水),日刊工業新聞社 (大阪)平成7年2月24日(金),コスモ証券ホール 3. (社)日本ロ
 ボット工業会 Tel.(03)3434-2919 Fax.(03)3578-1404
-
- シンポジウム'95「明日をめざす科学技術」
 1. 平成7年3月14日(火)～16日(木) 2. 日本消防会館(東京都港区虎ノ門)他 3. 科学新聞社 Tel.(03)3434-3741
 Fax.(03)3434-3745
-